

令和3年度 港南区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	快適区役所推進事業	5,679	△ 1,608	5,425	△ 1,862	254	254
2	総合案内充実事業	4,026	4,026	3,777	3,777	249	249
3	わかりやすい情報提供事業	1,067	1,067	3,067	3,067	△ 2,000	△ 2,000
4	こうなん区政推進事業	1,415	1,415	1,515	1,515	△ 100	△ 100
5	港南区地球温暖化対策推進事業(旧：こうなんの「エコ活。」推進事業)	3,060	3,060	2,660	2,660	400	400
6	みんなでつくるふるさと港南事業	1,330	1,330	1,915	1,915	△ 585	△ 585
7	歩行者サポート事業	6,000	6,000	6,000	6,000	0	0
8	地域カステップアップ事業～自治会町内会活動支援、商店街振興、協働による地域づくりの推進～	6,939	6,939	3,539	3,539	3,400	3,400
9	ヨコハマ3R夢！推進事業	1,303	1,303	1,318	1,318	△ 15	△ 15
10	うるおいのある美しい街づくり事業	4,212	4,212	4,212	4,212	0	0
11	ひまわり交流事業	732	732	732	732	0	0
12	港南公会堂竣工記念式典事業	3,000	3,000	3,000	3,000	0	0
13	安全安心まちづくり推進事業	6,969	6,969	7,581	7,581	△ 612	△ 612
14	災害に強いまちづくり事業	15,056	15,056	10,056	10,056	5,000	5,000
15	通学路カラー舗装化事業	5,500	5,500	5,500	5,500	0	0
16	交通安全施設等補修事業	3,000	3,000	3,000	3,000	0	0
17	区民活動・生涯学習支援事業	1,630	1,630	2,460	2,460	△ 830	△ 830
18	地域文化推進事業	720	720	720	720	0	0
19	地域スポーツ応援事業	2,150	2,150	2,150	2,150	0	0
20	青少年みらい応援事業	6,010	6,010	6,420	6,420	△ 410	△ 410
21	地域で子育て応援事業	7,219	7,178	6,862	6,821	357	357
22	「切れ目のない」子育て支援事業	1,123	1,123	920	920	203	203
23	地域福祉保健活動推進事業	4,744	4,744	6,634	6,634	△ 1,890	△ 1,890
24	健康アクションこうなん5推進事業	7,743	7,743	7,546	7,546	197	197
25	災害時も地域で見守り推進事業	2,028	2,028	1,580	1,580	448	448
26	安全で快適な生活推進事業	1,300	1,300	1,434	1,434	△ 134	△ 134
27	高齢者元気応援事業	1,989	1,989	2,015	2,015	△ 26	△ 26
28	障害者いきいき生活応援事業	1,530	1,530	2,450	2,450	△ 920	△ 920

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	区庁舎・区民利用施設環境改善	事業開始年度	平成16年度
------	--------	---------	----------------	--------	--------

事業名	快適区役所推進事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	○
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,679		7,287			△ 1,608
前年度	5,425		7,287			△ 1,862
増△減	254	0	0	0	0	254

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	9,899	9,899	4,597	予算	事業費	5,425	5,425
	メリット+一般財源	2,612	2,612	△ 2,690		一般財源	△ 1,862	△ 1,862
決算	事業費	11,148	10,060	4,217	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	3,998	2,926	△ 3,088	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	お客様である区民の方が、区役所等での時間を快適に過ごしていただけるよう、庁舎環境等の整備・改善を実施します
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

区庁舎等、部分的な改修や修繕を実施することにより、効果的にお客様環境の改善を図ります。また、区民にとって安心して利用できる区役所となるよう、新型コロナウイルス感染症対策を始めとした「新しい生活様式」に適応した改善が求められています。費用対効果を考慮しながら、迅速に対応していくことが必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望		
-------------	------------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係 港南区運営方針 正確・丁寧な行政サービスの提供

3 根拠法令・要綱等 横浜市庁舎管理規則

【実績の推移・今後見込み】
区庁舎や区民利用施設がお客様にとってわかりやすく使いやすいよう環境改善に取り組んでまいります。また、お客様が安心して区庁舎や区民利用施設を利用できるよう感染症対策等の新しい生活様式への対応を行います。

【実施内容】
・お客様環境の改善（・わかりやすい区役所 ・施設の環境整備改善 ・誰でも使いやすい区役所）
・新しい生活様式への対応（・感染症対策の徹底 ・web会議等の環境整備）
・人権講演会（・集合型の講演会に関しては参加人数を制限し、隣席との間隔を確保して実施
・講演会のWEB上での配信等、集合型によらない実施方法の検討 ・アルコール消毒等の感染症対策の徹底）
・「データブック港南」発行

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】
お客様が安心して区役所等を利用できるよう防災や健康づくりに配慮した環境づくりに取り組みます。

【障害者就労施設等からの調達取組】
区庁舎外構植栽管理委託やトイレトペーパーの盗難防止のためのスタンプ押印委託等を発注します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
お客様環境の改善	2,812	4,709	△ 1,897	R元実績による減
新しい生活様式への対応	2,071	0	2,071	感染症対策経費の増
人権講演会	296	316	△ 20	会場借り上げ料の減ほか
「データブック港南」発行	500	400	100	印刷経費の見直しによる
			0	
			0	
事業費合計	5,679	5,425	254	

【根拠とするデータ等】
令和元年度港南区区民意識調査、広聴情報データシステム、窓口サービス満足度調査、窓口外部評価

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	繁野 芳彰	笹生 健太	森 ゆかり

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	窓口サービス向上	事業開始年度	平成16年度
------	--------	---------	----------	--------	--------

事業名	総合案内充実事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,026					4,026
前年度	3,777					3,777
増△減	249	0	0	0	0	249

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,904	2,904	3,777	予算	事業費	4,026	4,026
	メリット+一般財源	2,904	2,904	3,777		一般財源	4,026	4,026
決算	事業費	2,003	3,076	3,777	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	2,003	3,076	3,777	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	総合案内窓口にて接客経験豊富なスタッフを配置し、的確で迅速、親切で丁寧な案内を行います。また、気付いた点などを情報共有し、区役所全体の接客・サービス向上を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	窓口案内サービスは、区役所において最も区民が利用する基本的サービスであり、より良いサービス提供を心掛けていくことが大切です。区役所での手続きは頻度も少ないため馴染みがなく、分かりにくい場合も多くあることから、親切で丁寧な対応が求められています。また、区役所業務以外の手続きや相談での来庁者も多く、その際にも適切な案内が必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	港南区運営方針 正確・丁寧な行政サービスの提供
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】
 総合案内には1日約300人の来庁者が訪れ、手続きや申請・相談窓口など多様なお問合せにお応えしています。案内業務を円滑に遂行するためには、他課との連携・情報共有が欠かせないため、引き続き情報提供を依頼するとともに、総合案内に寄せられた声や案内員(コンシェルジュ)の改善提案を積極的に庁内へ発信し、区役所全体でお客様目線の醸成、接客・サービス向上を図ります。

案内件数	令和29年度	令和30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込
	89,634件	66,330件	67,003件	67,000件	67,000件

【実施内容】
 区役所総合案内窓口にて接客経験豊富な、民間の専門スタッフを配置することで、区民目線に立った的確で迅速、親切丁寧な対応を行い、来庁者のニーズを満たします。※実施にあたっては、アルコール消毒・飛沫防止パーテーションの設置等感染症対策、ソーシャルディスタンスを確保しつつ、適切な案内を実施します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】
 支援が必要な来庁者に対しては、より丁寧で分かりやすい案内を心掛けます。

【障害者就労施設等からの調達の取組】
 来庁者に対する案内業務であり、事務用品程度です。

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ひまわりコンシェルジュ配置事業	4,026	3,777	249	総合案内窓口にてコンシェルジュを配置
事業費合計	4,026	3,777	249	

【根拠とするデータ等】
 案内件数：ひまわりコンシェルジュによる日ごとの総合案内での案内件数カウントの合計

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 高岡 昭人	係長 半浦 淳	係 河原 恵理華
--------------------	-------------	------------	-------------

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成10年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	わかりやすい情報提供事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,067					1,067
前年度	3,067					3,067
増△減	△ 2,000	0	0	0	0	△ 2,000

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	1,750	3,955	290
算 メリット+一般財源	1,750	3,955	290
決 算 事業費	1,780	3,883	723
算 メリット+一般財源	1,780	3,883	723

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	3,067	1,067
算 一般財源	3,067	1,067

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	(1)的確な情報提供サービスの実施 (2)区ウェブサイトの管理 (3)広聴(市民からの提案及び情報公開請求の受付)
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	(1)多岐にわたる問合せに的確に対応するため、多様な情報提供ツールの用意が求められています。 (2)インターネットの普及により、必要な情報の的確な管理が求められています。 (3)多様化かつ複雑化する地域の課題に対し、区民からの要望・提案に的確に対応していくことが求められています。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
-------------	------------

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 正確・丁寧な行政サービスの提供
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市の保有する情報の公開に関する条例、横浜市個人情報の保護に関する条例、「市民の声事業」の実施に関する取扱要綱、行政情報ネットワークの活用にあたっての基本方針
------------	--

【実績の推移・今後見込み】						
●区民生活・防災マップ						
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	(内訳) 転入者配布分：4,000部/年、希望者配布分：6,000部/年
発行部数	-	20,000	-	20,000	-	※令和2年度は予定部数
●広聴受付件数						
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	※令和2年度は12月28日現在、港南区受付のみ
受付件数	442	492	569	511※	-	

【実施内容】

(1)的確な情報提供：新型コロナウイルスに関する各種支援メニュー等の情報を区ホームページに掲載するほか、庁舎内の掲示、チラシ配架等を行い、広く情報提供をしていきます。
区民生活・防災マップの発行及び配布(隔年20,000部)、手続き・届出チェックシート(8種類、各約1,000枚/年)、情報コーナーでの広報印刷物の受け入れ、配布(年間約3,000種類/年)、地域情報紙掲載による区政・イベント情報の発信(4回/年)

【区役所を挙げて取り組むテーマ「見守り・支えあい」「健康づくり」「安全・安心のまちづくり」】
地域防災拠点・広域避難場所等の防災情報を「区民生活・防災マップ」で提供します。
また、区Webサイトなどを活用し、区政情報や生活に必要な情報を分かりやすく提供します。

【障害者就労施設等からの調達取組】
事務用品程度です。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】
地域防災拠点・広域避難場所等の防災情報を「区民生活・防災マップ」で提供します。
また、区Webサイトなどを活用し、区政情報や生活に必要な情報を分かりやすく提供します。

【障害者就労施設等からの調達取組】
事務用品程度です。

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
情報提供の充実	1,067	3,067	△ 2,000	区民生活・防災マップの隔年発行による減
事業費合計	1,067	3,067	△ 2,000	

【根拠とするデータ等】
広聴受付件数：広聴データベースシステムによる集計結果

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 高岡 昭人	係長 半浦 淳	広報相談係 河原 恵理華
--------------------	-------------	------------	-----------------

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成7年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	こうなん区政推進事業
-----	------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	○
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,415					1,415
前年度	1,515					1,515
増△減	△ 100	0	0	0	0	△ 100

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	4,180	2,740	5,010	予算	事業費	5,010	1,415
決算	メリット+一般財源	4,180	2,740	5,010	決算	一般財源	5,010	1,415
予算	事業費	4,640	1,937	5,163	方針に関する決裁 種別()			
決算	メリット+一般財源	4,640	1,937	5,163	有:件名()、日付(年月)			
無								

事業の概要(目的)	区民ニーズや地域課題を的確に把握し、その解決に向けて関係部署等と調整を行うとともに、区運営方針に掲げた目標達成に向けた取組を進めます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>区政運営の推進には、次のことが必要です。</p> <p>(1) 区民意識調査等から区民ニーズや地域課題を的確に把握し、その解決に向けて関係部署と調整すること。</p> <p>(2) 区運営方針に掲げる目標達成に向けた取組を進めること。</p> <p>(3) 区民、団体、企業等との協働によるまちづくりを推進すること。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 3 地区担当制度 5 区民アンケート 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	港南区運営方針 目標達成に向けた組織運営「地域に寄り添った組織運営！」
3 根拠法令・要綱等	区における総合行政の推進に関する規則

【実績の推移・今後見込み】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
区運営方針の地域・団体等への説明	15地区、13団体	15地区、13団体	15地区、13団体	15地区、13団体	15地区、13団体
区民意識調査	—	—	4,000人	—	—

【実施内容】

(1) 区運営方針策定・推進口
 区政の基本目標や目標達成に向けた取組を区運営方針としてまとめ、施策や事業を地域の皆さまへわかりやすく情報提供します。また、各施策の実施状況について、進捗管理を行います。

(2) 区民・区内で活動する団体や事業者・関係部署等との連絡調整
 区民との協働によるまちづくりや区民ニーズ・地域課題の解決に向けた取組を推進するため、区民、自治会・町内会、団体、関係部署等との連絡調整を行います。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】
 重点テーマに関する各課の取組・連携が進むよう運営方針の策定及び四半期管理を行います。
 また、重点テーマに関する取組をわかりやすくまとめ、地域の皆様へ情報提供します。

【障害者就労施設等からの調達の取組】
 委託など、できる限り障害者就労施設等への調達可能性を検討します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 区運営方針策定・推進	240	240	0	
2 連絡調整	1,175	1,275	△ 100	前年度実績による減
			0	
			0	
事業費合計	1,415	1,515	△ 100	

【根拠とするデータ等】
 令和元年度港南区区民意識調査(令和2年1月)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	高岡 昭人	長岡 将史	菓子 千尋

[港南区 区政推進 課]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	水・緑環境保全	事業開始年度	平成22年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名
港南区地球温暖化対策推進事業

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="radio"/>
中期計画-行政運営	<input type="checkbox"/>
中期計画-財政運営	<input type="checkbox"/>
重点事業	<input type="checkbox"/>
新規・拡充	<input type="radio"/>
温暖化対策関連事業	<input type="radio"/>

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
10	2
10	4
12	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,060					3,060
前年度	2,660					2,660
増△減	400	0	0	0	0	400

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,780	2,820	2,870	予算	事業費	3,060	3,060
	メリット+一般財源	2,780	2,820	2,870		一般財源	3,060	3,060
決算	事業費	2,593	3,716	2,220	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	2,593	3,716	2,220				

事業の概要(目的)	区民や事業者等と連携し、地球温暖化の原因である二酸化炭素排出量の削減や節電・省エネに取り組めます。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	<p>市域での気候変動は既に起こっており、気象庁の横浜地方気象台で観測された年平均気温は、過去100年間あたりで約1.8℃上昇しています。神奈川県内の平均気温は、十分な対策を取らない場合、現在から将来の約100年間に概ね3℃程度上昇し、真夏日は年間で約40日程度増加して約70日程度になると予測されています。</p> <p>また、港南区の緑被率は年々低下しており、令和元年度時点では18区中5番目に低い区となっています。緑被率の減少や都市化に伴う地表面の人工化などにより、ヒートアイランド現象が起っています。</p>
地域の課題等の収集手段	8 その他
2 運営方針等との関係	港南区運営方針 施策4「住み続けたいまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例 等

【実績の推移・今後見込み】

- ・温暖化の原因である二酸化炭素排出量を減少させる取組を行います。
- ・市民活動団体や地域コミュニティ組織、事業者等との協働により、区民の環境意識の高揚を図るとともに、省エネルギーの取組を推進します。

○ゴーヤの苗の配布

年度	H29	H30	R1	R2	R3見込み
施設数	31	30	30	21	30

○廃食油の回収

横浜市地球温暖化対策推進協議会が実施する廃食油回収について、イベントでの回収支援を開始。平成27年度からはイベントでの回収に加え、自治会町内会における定期回収の取組支援を実施・継続中。

○公共施設へのLED設置、人感センサーの設置(場所は地域振興課が調整)

年度	H29	H30	R1	R2予定	R3見込み
施設数	3	3	3	3	3

○公共施設の緑化(場所は地域振興課が調整)

年度	H29	H30	R1	R2予定	R3見込み
施設数	0	0	0	1	1

【実施内容】

1 推進本部運営

港南区地球温暖化対策推進本部委員と連携した地球温暖化対策の推進のため、本部総会を開催。

※開催にあたっては、感染症対策の観点から検温・アルコール消毒等の実施、ソーシャルディスタンスの確保を図ります。対面での開催が困難な場合は、書面開催により実施します。

2 省エネ、節電推進

- ・区民利用施設等へのLED・人感センサーの導入。
- ・区民に向けた省エネの推進や商店街等と連携した打ち水の実施。

※実施にあたっては、参加者の検温、ソーシャルディスタンスの確保等、感染症対策を徹底します。

3 普及啓発

- ・温暖化対策の各種取組について、イベント等での普及啓発やカーボン・オフセットの実施。
- ・横浜市地球温暖化対策推進協議会が実施する廃食油回収の取組を継続支援。

4 緑化推進

- ・緑のカーテンの実施普及に向けて、ゴーヤ等の苗を保育園・小学校や区内企業・商店街等に配布。育てていただいたゴーヤ等は、食育や健康づくりなどにも活用。
- ・花の苗を区民に配布し、家庭での緑化を推進。
- ・公共施設における緑化を実施。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

- ・緑化、省エネ・節電は、温暖化対策・環境保全を推進し、広い意味での防災・減災につながっている。
- ・イベント開催時に在宅避難のパンフレットを配布するなど、機会をとらえて防災・減災のPRを行う。
- ・安全安心キャンペーン等で健康レシピやウォーキングPRパンフレットを配布。
- ・廃食油回収を自治会や商店街で行うことで、地域交流の場を創出する。

【障害者就労施設等からの調達取組】

積極的に障害者就労施設等からの調達を行う。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 推進本部運営	90	90	0	
2 省エネ、節電推進	2,000	1,700	300	新規事業による増
3 普及啓発	320	340	△ 20	既存物品の使用による減
4 緑化推進	650	530	120	事業拡充による増
			0	
			0	
事業費合計	3,060	2,660	400	

【根拠とするデータ等】

都市計画マスタープラン港南区プラン（令和元年8月）、都市計画基礎調査（平成25年度）等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	高岡 昭人	長岡 将史	秋山 隼人

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[港南区 区政推進課]

No.	6
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成23年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名
みんなでつくるふるさと港南事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	7
13	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,330					1,330
前年度	1,915					1,915
増△減	△ 585	0	0	0	0	△ 585

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	1,380	1,320	1,765
算 メリット+一般財源	1,380	1,320	1,765
決算 事業費	1,112	1,220	1,408
算 メリット+一般財源	1,112	1,220	1,408

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	1,330	1,330
算 一般財源	1,330	1,330

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	港南区の魅力を発見・発信し、地域への愛着を高めます。
-----------	----------------------------

(説明)

1 地域の課題等	<p>・港南区の様々な魅力を発見・発信していくことにより港南区に対する関心と愛着を高め、地域の活性化を図るとともに、約8割という高い定住意向を維持し続ける必要があります。(令和元年度区民意識調査:「住み続けたい」「やや住み続けたい」の合計 81%)</p> <p>・令和元年度区民意識調査の「関心がある・充実させてほしい情報」に対する、10歳~20歳代の「特にない」の回答が25%と、他の世代に比べて最も高く、地域情報への関心が低くなっています。若い世代を対象とした地域への関心を高める取組が必要です。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート		
-------------	------------	-----------	--	--

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 施策4「住み続けたいまちづくり」
-------------	--------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例
------------	----------------------------

【実績の推移・今後見込み】

- 1 まちの魅力発信
「まち自慢ガイドブック」の増刷(令和2年度:1万部)
- 2 地産地消の推進
直売会の実施(令和2年度:4回開催)
- 3 ひまわりを活用した区の活力アップ
「こんにちは!港南baby誕生プレゼント」ミニタオル配布実績

年度	H29	H30	R1	R2見込み	R3見込み
配布数	1,283	1,341	1,570	1,300	1,300

【実施内容】

- 1 まちの魅力発信
 - (1) 子どもによるまちの魅力発信
子どもたちが地域への関心や愛着を高めることを目的に、地域のお気に入り(風景、建物、イベント、食等)を写真とコメントで募集します。寄せられたスポットは区内施設や「こうなん子どもゆめワールド」で展示します。
また、区ウェブサイトにも掲載し、子どもならではのまちの魅力を区内外に広く情報発信します。
 - (2) ふるさと港南のまち自慢ガイドブックの活用
令和元年度にリニューアル、2年度に地図をデジタル化したまち自慢ガイドブックについて、PRツールを作成します。区内の駅や商店街・商店会等と連携して広報を強化し、港南区の魅力の新たな発見や商店街・商店会の活性化に繋がります。

2 地産地消の推進

港南区内の農家の方が港南公会堂や市営地下鉄駅等で直売会を行い、区民に港南区産野菜を提供することで地産地消を推進します。また、健康づくりなど区の他事業と連携し、幅広い層が地産地消を知るきっかけを作ります。実施にあたっては、アルコール消毒・飛沫防止パーテーションの設置等感染症対策を行います。ソーシャルディスタンスを確保をしつつも、来場者と農家の交流の場となるようにします。

3 ひまわりを活用した区の活力アップ

こんにちは！港南baby誕生プレゼント

新たに港南区民となる出生児を対象に、こんにちは赤ちゃん訪問員が各家庭を訪問する際に、区の花「ひまわり」柄のオリジナルミニタオルをお渡しし、ひまわりを広く周知します。
(区内事業者と連携：オリジナルタオル製作、名入れ刺繍の無料提供)

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

- ・こんにちは！こうなんbaby誕生プレゼントで赤ちゃん訪問員の訪問のきっかけづくりを行います。
- ・直売会で野菜摂取量のチェックを行うなど、健康づくりにつながる取組を行います。

【障害者就労施設等からの調達取組】

委託など、できる限り障害者就労施設等への調達可能性を検討します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 まちの魅力発信	770	950	△ 180	増刷終了による減
2 地産地消の推進	120	20	100	事業実施場所の変更による増
3 ひまわりを活用した区の活力アップ	440	945	△ 505	事業終了・移管による減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,330	1,915	△ 585	

【根拠とするデータ等】

令和元年度港南区区民意識調査（令和2年1月）

本資料は、公正・適正に作成しまし	課長	係長	係
	高岡 昭人	長岡 将史	木村 優友

[港南 区 土木事務所 課]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	土木関係・公園	事業開始年度	平成28年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	歩行者サポート事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
20	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,000					6,000
前年度	6,000					6,000
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	3,000	3,000	6,000	予	事業費	6,000	6,000
算	メリット+一般財源	3,000	3,000	6,000	算	一般財源	6,000	6,000
決	事業費	6,442	3,278	5,980	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
算	メリット+一般財源	6,442	3,278	5,980				

事業の概要(目的)	超高齢社会に対応するため、高齢者が日常生活や災害時の避難通路として公道を安全で安心して歩きやすいと実感できる整備を行います。具体的には、階段への手すりの設置や補修などを行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	港南区の特徴として起伏のある地形のため階段が多く、高齢者(65歳以上)の数が18区中6番目で、上位に位置しています。そのため、高齢者が歩きやすいと感じる道路の工夫が必要です。
地域の課題等の収集手段	6 区民要望
2 運営方針等との関係	港南区運営方針 目標達成に向けた施策 施策4 住み続けたいまちづくり
3 根拠法令・要綱等	福祉のまちづくり条例

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
手すり延長(m)	306	158	51	61	120	170
道路局予算(円)	7,442,000	10,379,880	1,794,000	2,292,400	6,000,000	6,000,000
区づくり推進費(円)	3,000,000	6,442,200	3,278,000	5,979,600	6,000,000	6,000,000

【実施内容】
 港南区は高齢者の数が多いため、高齢者が歩きやすいと感じる道路の工夫が必要です。そこで、公道の階段に手すりを設置、または現在ある手すりの補修などを行うことで、高齢者の安全と安心を確保します。
 そうすることで外出意欲がより高まり、健康づくりにもつながります。
 【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】□
 階段に手すりを設置することで、高齢者は階段の昇り降りの際に安心感が得られ、外出意欲がより高まり、健康づくりにつながります。
 【障害者就労施設等からの調達の取組】
 特になし

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
手すり等設置・補修事業	6,000	6,000	0	手すり(100,000円/m×60m)
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	6,000	6,000	0	

【根拠とするデータ等】
 横浜市統計(行政区別65歳以上人口及び割合)(31年1月1日現在)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 麻生裕昌	係長 大塚陽三	道路係 小山田佳奈
--------------------	------------	------------	--------------

(様式3-1) 令和3年度事業計画書【自主企画事業費】

[港南区 地域振興 区政推進 課]

No. 8

予算区分	地域コミュニティ費 街づくり推進費	性質・ 課題区分	地域コミュニティ 商店街振興	事業開始年度	平成6年度
------	----------------------	-------------	-------------------	--------	-------

事業名
地域カステップアップ事業 ～自治会町内会活動支援、 商店街振興、 協働による地域づくりの推進～

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	1

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,939					6,939
前年度	3,539					3,539
増△減	3,400	0	0	0	0	3,400

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	3,196	3,036	3,054	予算	事業費	6,939	6,939
	メリット+一般財源	3,196	3,036	3,054		一般財源	6,939	6,939
決算	事業費	4,127	2,896	1,806	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	4,127	2,896	1,806				

事業の概要 (目的)	「安全で誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、地域活動が活性化するように、自治会町内会及び商店街をサポートし、地域力の向上を図ります。新任自治会町内会長向け講習会や、会長感謝会を開催します。また、地域、事業者、行政の協働が進むきっかけづくりを行い、協働による地域づくりを進めます。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	自治会町内会への加入率は減少傾向にあり(27年度77.8%、28年度77.5%、29年度77.3%、30年度76.4%、元年度75.4%)、また、新たに就任する会長が多い・役員の成り手不足など、自治会町内会の円滑な運営や活動を行う上での課題があります。 これらの自治会町内会の課題を解消し、自治会町内会の活動を活性化するために、新任自治会町内会長等講習会や補助金説明会によるサポートのほか、地域と行政が協働で加入促進に取り組むことが重要です。 また、自治会町内会は、行政からの依頼事項も多く、特に自治会町内会長は、地域住民と行政とのパイプ役や協働の推進役として活動されています。そうした活動の労苦に対して感謝の意を表する必要があります。 さらに、区内の小売店を中心に結成されている商店街(会)は、元気な地域づくりを推進するためにも、商店街(会)活性化の支援が必要です。 協働による地域づくりをさらに推進するため、港南区制50周年で生まれた事業者とのつながりを今後も継続し、事業者とも協働をしていく必要があります。また、地域の皆さんが地域課題の解決に取り組む第4期港南ひまわりプラン地区別計画が円滑に推進できるように支援する必要があります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 I 基本目標：地域の皆さまと協働でつくる「安全で誰もが安心して元気に暮らせるまち」 II 目標達成に向けた施策：地域の皆さまと協働で進める地域づくり
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例 港南区自治会町内会役員等表彰要綱 港南区自治会町内会長永年在職者表彰要綱 横浜市自治会町内会長永年在職者表彰要綱 自治会町内会に対する依頼業務の取扱について(依命通達) 横浜市商店街の活性化に関する条例 横浜市民協働条例
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

- 新任自治会町内会長等講習会
 - 平成28年度(6月11日開催) 参加者33名
 - 平成29年度(6月10日開催) 参加者43名
 - 平成30年度(6月9日開催) 参加者40名
 - 令和元年度(6月8日開催) 参加者34名
 - 令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 自治会町内会役員表彰式
 - 平成28年度(9月2日開催) 被表彰者44名
 - 平成29年度(7月7日開催) 被表彰者35名
 - 平成30年度(3月7日開催) 被表彰者41名
 - 令和元年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 被表彰者25名
 - 令和2年度(令和3年3月開催予定)

- 3 自治会町内会長感謝会
 - ・平成28年度（平成29年3月9日開催） 被表彰者8名
 - ・平成29年度（平成30年3月8日開催） 被表彰者10名
 - ・平成30年度（平成30年3月7日開催） 被表彰者19名
 - ・令和元年度（新型コロナウイルス感染症の影響により中止） 被表彰者22名
 - ・令和2年度（令和3年3月開催予定）
- 4 事業者と協働による地域づくりを進める取組
 - 協働による地域づくり推進協議会
 - ・令和2年度（第1回：7月8日開催 第2回：9月開催予定 第3回：12月開催予定
第4回：令和3年2月開催予定）
 - ふるさと港南便り
 - ・令和2年度（第1回：6月25日掲載（東京ガスエコモ）第2回：8月掲載予定 第3回：12月掲載予定
第4回：令和3年3月掲載予定）

【実施内容】

1 自治会町内会運営のサポート

補助金申請手続きに関することや自治会町内会の運営に関する事など、自治会町内会活動を行う上での様々な課題に対応できるようサポートします。

(1) 新任自治会町内会長・役員を対象とした講習会の開催

内容： 就任後間もない自治会町内会長及び役員を対象に、地域生活に密着した課題や疑問の解決、不安の解消に役立つ講習会を開催します。併せて、活動歴の長い自治会町内会長を招き、意見交換会を行います。
なお、コロナによる影響がある場合は、公会堂などの広い会場を利用したり、回数を増やして実施します。

会場：港南区役所
日時：令和3年6月 予定

(2) 地域活動推進費・地域防犯灯維持管理費補助金等説明会・個別相談会の開催

内容： 補助金の申請については、窓口での相談件数も多く、自治会町内会からも、「個別に相談に乗ってほしい」との要望が多いことから、自治会町内会役員の方の多くが参加しやすい土曜日または日曜日に説明会・個別相談会を実施し、申請を受け付けます。
なお、コロナによる影響がある場合は、公会堂などの広い会場を利用したり、回数を増やして実施します。

会場：港南区役所
日時：令和3年5月 予定

(3) 自治会町内会区域図更新

内容： 各自治会町内会が災害対応や加入促進に使用できる区域図について、変更箇所を調査し更新します。

2 自治会町内会のICT活用支援

(1) ICTの活用検討支援

内容： 連合町内会、単位町内会におけるICTの活用について、それぞれの自治会町内会にあったツールを検討し、導入にかかる費用の調査など、継続して活用していく環境を整えられるようにサポートします。

(2) 機器導入に係る支援

内容： 連合町内会、単位町内会間の新しい生活様式を取り入れた連携手法の導入にかかる補助を行います。

3 自治会町内会長感謝会、自治会町内会役員表彰式（区長表彰）

内容： 自治会町内会長の日頃の御労苦に対して感謝の意を表する感謝会を開催します。併せて、長年、地域活動を行ってこられた自治会町内会役員の方の御労苦に感謝の意を表するため、役員表彰式を実施します。
なお、コロナによる影響がある場合は、表彰及び記念品等の贈呈方法について、検討します。

会場：港南区役所
日時：令和4年3月 予定

4 広報物等仕分運搬

内容： 自治会町内会に配布するチラシ・ポスター等の仕分け・配送を一括して委託することで、配布時期の統一や経費の節減を図ります。

時期：令和3年4月～令和4年3月（8・12月を除く）

5 商店街振興

(1) ひまわりを活用した商店街振興

内容： 商店街と協働で行う「ひまわりの花絵画コンクール」の開催を通じて、商店街が一体となり、活性化につながるように支援します。

時期：「絵画コンクール」令和3年7～11月 予定

(2) 商店街イベント広報

内容： 商店街が開催する「まちゼミ」をはじめとした各種イベントについて、広報等で支援します。

時期：「港南区まちゼミ」令和3年11月 予定

(3) 商店街と連携した港南ひまわり83運動の推進

内容： 登下校時の小学生の見守り活動を推進する港南ひまわり83運動を、商店街と連携して行うことで、商店街と地域の接点を増やし、活性化につながるように支援します。

時期：令和3年4月～令和4年3月

6 事業者と協働による地域づくりを進める取組

内容： (1) 協働による地域づくり推進協議会を年4回程度開催し、委員間の連携を深めるとともに、地域、事業者、行政の協働事例の見学等を行います。新しい生活様式を取り入れ、状況に応じた方法で協働事例を学びます。

(2) 地域に貢献している事業者を広報媒体により紹介し、地域と事業者の良好な関係を築く機会とします。取材に際しては、感染症対策を徹底します。

7 第4期港南ひまわりプラン地区別計画の推進にかかる取組

各地区毎の連携を密にし、地域のプラットフォーム機能が円滑に実施できるよう支援を行います。

内容：連合と地区社協が連携していることを前提とした地域活動で、第4期港南ひまわりプラン地区別計画の推進に関わるものについて、補助金を交付します。（上限6万円×15地区×0.8）補助金説明会や申請において、活動上の注意について促します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

自治会町内会長等講習会等において、防災・減災、見守り・支えあい、健康づくりに関する啓発を併せて行います。また、商店街振興事業に関連して、商店街に普段の見守りを依頼するなど連携して取り組みます。なお、協働による地域づくり推進協議会では、テーマに関連した内容を議題とします。

【障害者就労施設等からの調達取組】

自治会町内会役員表彰式や、自治会町内会長感謝会及びひまわりの花絵画コンクールにおいて、花や記念品の発注を障害者就労施設に行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
新任自治会町内会長等講習	35	35	0	
補助金交付事業・説明会・個別相談会	25	25	0	
自治会町内会区域図更新	100	100	0	
自治会町内会のICT活用支援	2,280	0	2,280	新規事業による増
自治会町内会感謝会・役員表彰式	1,574	1,574	0	
広報物仕分運搬	561	655	△ 94	
商店街振興	850	450	400	新規商店街と連携した港南ひまわり83運動の推進による増
協働による地域づくりを進める取組	674	700	△ 26	
第4期港南ひまわりプラン地区別計画の推進にかかる	840	0	840	新規事業による増
事業費合計	6,939	3,539	3,400	

【根拠とするデータ等】

横浜市自治会町内会加入世帯数及び加入率の推移・区別自治会町内会加入率（令和元年度）、横浜市自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書（平成28年度）

本資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	地域運営推進・地域力推進担当 係
	大木 靖博	渡邊 格二郎	中島 皓平

(港南 区 - 8)

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成8年度
------	-----------	---------	------	--------	-------

事業名	ヨコハマ3R夢！推進事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	6
12	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,303					1,303
前年度	1,318					1,318
増△減	△15	0	0	0	0	△15

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,654	1,556	1,130	予算	事業費	1,303	1,303
	メリット+一般財源	1,654	1,556	1,130		一般財源	1,303	1,303
決算	事業費	1,043	1,483	1,090	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	1,043	1,483	1,090	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	横浜市一般廃棄物処理基本計画(ヨコハマ3R夢プラン)に基づき、区内で排出されるごみの資源と総量の削減目標を設定し、達成する取り組みを進めます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	ヨコハマ3R夢プラン推進計画(2018~2021)の最終年であり、分別・リサイクルはもちろんのこと、環境に最もやさしい「リデュース(発生抑制)」の取組を進めることで、環境負荷の低減につながる。豊かな環境を後世に引き継ぐために、更なる3R推進が必要となっている。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望
2 運営方針等との関係	港南区運営方針 施策4 住み続けたいまちづくり
3 根拠法令・要綱等	横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例、港南区地球温暖化対策・ヨコハマ3R夢推進本部設置要綱、横浜市一般廃棄物処理基本計画等

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	令和2年度見込	令和3年度見込
港南区ごみと資源の総量(年間)	49,970	48,781	48,001	46,919	47,352	45,592	※

※令和3年度の見込み額は、令和2年度実績値(推計値)を基に算出するため、推計値の出る年度末までは未定。

【実施内容】

- ヨコハマ3R夢推進本部総会(前年度実績報告と本年度の目標設定・事業予定を決定)
実施回数:1回(5月)、対象:連合町内会長、環境事業推進員地区代表、各種団体代表、事業者等
※コロナ禍においては新しい生活様式に則して書面開催・Web会議等で実施。
- ヨコハマ3R夢表彰式(安全安心まちづくり表彰と合同開催。街の美化活動及び3R夢プランの推進に功労があった個人・団体を表彰)
実施回数:1回(3月)、対象:港南区の個人、団体
※コロナ禍においては新しい生活様式に則して書面開催・Web会議等で実施。
- ヨコハマ3R夢啓発(地域イベントでのブース出展、保育園や小中学校への出前教室、百貨店・スーパー店頭等での啓発で3R夢プランの周知、啓発を実施)
実施回数:地域イベント、スーパー店頭等での啓発30回以上。保育園、小中学校への出前教室30回以上。
対象:港南区民
※コロナ禍においては新しい生活様式に則した新たな啓発方法・啓発対象の調査・開拓を行う。
- 食品ロス削減の取組み(フードドライブの取組みを港南事務所・区社協等と連携して実施。食品ロス削減啓発のための講演会実施。フードドライブ活動の周知)
フードドライブ推進イベント回数:3回 講演会実施回数:2回、対象:港南区民
※コロナ禍においては集積所を活用した啓発など新しい生活様式に則して実施。
- プラスチック対策への取組み(プラスチック削減啓発のための講演会実施)
講演会実施回数:1回、対象:港南区民
※コロナ禍においては新しい生活様式に則して実施。
- 啓発印刷物の作成(3R夢関連事業を区民にわかりやすく周知するために、環境事業推進委員だより等の啓発印刷物の作成)
実施回数:適宜作成、対象:港南区民
- リユース情報掲示板の運営(生活用品等のリユースを促すため、消費生活推進員と協力し、リユース掲示板を運営) 実施回数:通年、対象:港南区在住・在勤・在学の者

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】
 資源循環局北部事務所と連絡して、災害時のトイレについて啓発を行い、トイレバックの備蓄率の向上を図る。

【障害者就労施設等からの調達の取組】

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ヨコハマ3R夢推進事業	93	65	28	携帯通信費等の増
ヨコハマ3R夢推進表彰式	130	130	0	
ヨコハマ3R夢啓発	580	580	0	
食品ロス削減への取組み	120	140	△ 20	広報掲載謝金の減
プラスチック対策への取組	110	110	0	
啓発印刷物作成	240	240	0	
リユース情報掲示板	30	53	△ 23	携帯通信費の減
事業費合計	1,303	1,318	△ 15	

【根拠とするデータ等】

令和元年度港南区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進担当 係
	大屋 将佐	岩崎 洋	大熊 玄気

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	------	--------	--------

事業名	うるおいのある美しい街づくり事業
-----	------------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	6
12	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,212					4,212
前年度	4,212					4,212
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	5,055	4,998	3,945	予算	事業費	4,212	4,212
	メリット+一般財源	5,055	4,998	3,945		一般財源	4,212	4,212
決算	事業費	4,283	4,639	3,944	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	4,283	4,639	3,944	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	散乱ごみや不法投棄が無く、花いっぱい美しい街をつくるため、区民・地域団体が一体となって、種々の事業に取り組みます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場でのポイ捨てがなくなる実情がある。清掃委託と合わせて、ポイ捨て防止の啓発活動にもさらに力を入れていく必要がある。 地域主体の美化活動は川のクリーンアップ、フラワーサポーターの花植え、各地区連合の清掃活動等、活発になっている。行政としてどのように後方支援していくか、常に精査が必要。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望
-------------	------------	--------

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 施策4 住み続けたいまちづくり
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市廃棄物等の減量化・資源化及び適正処理等に関する条例、横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止に関する条例、こうなん地域美化活動補助金交付要綱、港南区フラワーサポーター活動補助金交付要綱 等
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

1 川のクリーンアップ

		大岡川		平戸永谷川		笹下川		日野川
		笹下地区	上大岡・大久保最戸地区	春	秋	春	秋	夏
平成29年度	参加人数(人)	300	750	500	700	98	160	160
	回収量(トン)	1.52	1.67	1.84	1.90	0.53	1.00	0.85
平成30年度	参加人数(人)	284	750	600	350	161	144	160
	回収量(トン)	0.71	1.08	1.10	2.19	0.71	0.56	0.32
令和元年度	参加人数(人)	350	798	600	600	104	152	150
	回収量(トン)	0.81	0.86	1.33	1.89	0.45	0.91	0.36
令和2年度(見込み)	参加人数(人)	中止	中止	中止	600	中止	152	中止
	回収量(トン)				1.89		0.91	
令和3年度(見込み)	参加人数(人)	350	798	600	600	104	152	150
	回収量(トン)	0.81	0.86	1.33	1.89	0.45	0.91	0.36

2 フラワーサポーター事業

29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
8団体	8団体	9団体	9団体	9団体

3 美化活動支援事業

29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
15団体	15団体	15団体	15団体	15団体

4 港南台・上永谷駅周辺清掃及びふれあいの水辺清掃委託事業(障害者施設、地域作業所)

(単位：千円)

		29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
港南台駅	施設数	6施設	6施設	6施設	6施設	6施設
	委託金額	454	454	457	464	464
上永谷駅	施設数	8施設	8施設	9施設	11施設	11施設
	委託金額	446	935	829	1,320	1,320
ふれあいの水辺	施設数	-	-	1施設	1施設	1施設
	委託金額	-	-	303	80	80

【実施内容】

1. 川のクリーンアップ
 地域で行っている川のクリーンアップ団体の活動支援。河川内や沿道の清掃活動を行い、美化意識の向上を図る。
 ※コロナ禍においては、新しい生活様式に合わせて地域が工夫した活動の支援とともに活動内容の広報を行う。
 ・大岡川（大岡川クリーンアップ実行委員会、笹下連合町内会） ・平戸永谷川（平戸永谷川水辺愛護会）
 ・笹下川（笹下川再生プロジェクト） ・日野川（日野第一連合町内会）
 2. フラワーサポーター事業
 公共性の高い場所に花植えやその維持管理を行う団体に対して活動補助金を交付。（9団体を予定）
 3. 美化活動支援事業
 各地区で実施している町内清掃等地域主体で行われている美化活動に対して補助金を交付。（15団体を予定）
 4. 港南台、上永谷駅周辺清掃委託
 地域作業所等に駅周辺の清掃作業を委託し、美化環境の改善と障害者施設からの優先調達を図る。
- 【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】**
 11月に開催している港南ふれあいウォーキング時に、クリーンウォーキングを行い、清掃用具・バイオマス製ごみ袋を配布し、健康づくりと清掃活動を同時に進める。
- 【障害者就労施設等からの調達の取組】**
 港南台・上永谷駅周辺清掃及びふれあいの水辺清掃作業を障害者就労施設等へ委託する。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
街のクリーンアップ事業	2,832	2,832	0	川や駅周辺の清掃活動支援
地域美化活動支援事業	920	920	0	町内清掃等の活動への補助
フラワーサポーター支援事	460	460	0	花植への補助
			0	
			0	
			0	
事業費合計	4,212	4,212	0	

【根拠とするデータ等】

令和元年度港南区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進担当 係
	大屋 将佐	岩崎 洋	大熊 玄気

[港南区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名 ひまわり交流事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 29 主な施策番号 1	事業評価 書番号 該当なし
	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	中期計画-38の政策 政策番号 29 主な施策番号 1	事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	732					732
前年度	732					732
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算	700	755	955	事業費	732	732
メリット+一般財源	700	755	955	一般財源	732	732
決算	736	909	935	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月)		
決算	736	909	935	無		

事業の概要 (目的)	青少年の健全育成やふるさと意識の醸成、地域の活性化を図るため、ひまわり生活体験交流事業、ひまわりの花普及事業など、宮城県大崎市との相互交流を展開している「ひまわり交流協会」及びその活動を支援します。
---------------	---

(説明)																					
1 地域の課題等	令和元年度の区民意識調査では、「港南区に住み続けたい」と答えた人が8割を超えています。住み続けたいまちづくりや青少年が健やかに育つまちづくりには、地域の皆さんの港南区への愛着を高めること「ふるさと意識の醸成」や地域の活性化を図ることが大切です。																				
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望																				
2 運営方針等との関係	港南区運営方針「施策2 見守り・支えあいのまちづくり」																				
3 根拠法令・要綱等	港南区ひまわり交流推進事業補助金交付要綱																				
【実績の推移・今後見込み】																					
○大崎市三本木ひまわり交流協会から送られるひまわりの種の区内配布 毎年21,000粒程度																					
○ひまわり生活体験交流事業																					
年度	実施日程	実施場所	参加児童数(人)			※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止															
			港南区	大崎市	合計																
29年度	7月31日～8月2日	横浜市	20	17	37																
30年度	8月8日～10日	大崎市	30	15	45																
令和元年度	8月4日～6日	横浜市	19	25	44																
令和2年度	8月5日～7日	大崎市	0	0	0																
令和3年度(見込)	8月4日～6日	大崎市	20	20	40																
【実施内容】		港南区ひまわり交流協会の活動を支援																			
		<ul style="list-style-type: none"> 相互のシンボルであるひまわりの普及 区の花ひまわりへの愛着を高めるため、大崎市三本木ひまわり交流協会から毎年贈られるひまわりの種を、自治会町内会、保育園、小・中・高校、公園愛護会、一般区民等に配布します。令和2年度配布実績：600袋（約21,000粒） ひまわり生活体験交流の実施 夏休みの3日間、港南区と大崎市の児童（小学4～6年）が毎年交互に相手都市を訪問し共同生活を送ります。 相互交流の促進 大崎市と港南区の交流をPRするため、大崎市三本木ひまわり交流協会と協力して「こうなん子どもゆめワールド」でブースを出店します。また、区役所1階ホールでパネル展を実施・交流をPRします。 																			
【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】		ひまわり生活体験交流やゆめワールドにおける物産展示等を通じて、港南区ひまわり交流協会に所属する各団体の相互連携を密にし、日ごろの見守り・支えあいにつなげていきます。																			
【障害者就労施設等からの調達取組】		ひまわりの種の梱包作業を障害者就労施設に委託します。																			
【事業費の内訳】		<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>ひまわり交流事業</td> <td>732</td> <td>732</td> <td>0</td> <td>補助金、生活体験交流費</td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>732</td> <td>732</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>					細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	ひまわり交流事業	732	732	0	補助金、生活体験交流費	事業費合計	732	732	0	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																	
ひまわり交流事業	732	732	0	補助金、生活体験交流費																	
事業費合計	732	732	0																		
【根拠とするデータ等】		港南区民意識調査																			

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大木 靖博	係長 三枝木 武	青少年育成担当 浅井 美保
--------------------	-------------	-------------	------------------

[港南 区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	令和3年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	港南公会堂竣工記念式典事業
-----	---------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,000					3,000
前年度	3,000					3,000
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	0	0	0	予算	事業費	0	0
	メリット+一般財源					一般財源	0	0
決算	事業費				方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源				有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	港南公会堂については、令和3年5月の一般供用開始を目指して再整備が進められていますが、完成を記念して竣工記念式典を行います。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

港南公会堂は再整備のため平成29年4月から休館しており、現在、利用者の方々は区民文化センターや他区の公会堂等を利用しているため公会堂の再オープンを期待する声が出ています。そのため、公会堂の一般供用開始を記念して、記念式典を行います。
 なお、竣工が令和3年3月末に延期したため、令和2年度の予定を令和3年度に変更しました。

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
-------------	-------------

2 運営方針等との関係

港南区運営方針：施策4「住み続けたいまちづくり」

3 根拠法令・要綱等

横浜市公会堂条例、横浜市公会堂条例施行規則

【実績の推移・今後見込み】

	3年度
執行金額(千円)	3,000

【実施内容】

(1) 公会堂竣工記念式典

- ・式典・ミニコンサート等実施
- ・参加者に記念品贈呈

※コロナ禍が継続した場合、必要な感染症対策を講じた上で開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
公会堂竣工記念式典	3,000	3,000	0	式典の開催
			0	
事業費合計	3,000	3,000	0	

【根拠とするデータ等】

平成30年度 金沢公会堂完成記念式典

本資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	係
	大木 靖博	三枝木 武	東 美佑

[港南区 地域振興 課]

予算区分	防犯・防災・安全対策費 防犯・防災・安全対策費 地域コミュニティ費	性質・ 課題区分	防犯 交通安全 地域コミュニティ	事業開始年度	平成20年度
------	---	-------------	------------------------	--------	--------

事業名	安全安心まちづくり推進事業
-----	---------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	33	5

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,969					6,969
前年度	7,581					7,581
増△減	△ 612	0	0	0	0	△ 612

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	7,576	7,432	8,575	予 算	6,969	6,969
算	7,576	7,432	8,575	算	6,969	6,969
決 算	6,957	7,056	8,254			
算	6,957	7,056	8,254			

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
(無)

事業の概要 (目的)	「安全で誰もが安心して暮らせるまち」をめざし、各種団体・関係機関と連携して防犯や交通安全などに取り組みます。また、防犯に関する地域の活動を支援します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	令和元年度の区民意識調査では、「港南区の望ましい将来像」として「治安が良いまち」が65%と最も多く、「重要度が高いと思う地域活動」として「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」が31%と最も多くなっており、地域では日ごろより安全、安心なまちづくりのため、防犯パトロールを通して防犯灯の設置状況や防犯カメラの設置箇所など点検を行っています。しかし、現在の制度では、開発等で新たに設置が必要な防犯灯や地域の防犯に効果的な防犯カメラの設置について、地域からの要望数にすべて対応できるものではありません。こうしたニーズを受け、地域活動へのさらなる支援の充実を図る必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート
2 運営方針等との関係	港南区運営方針 I 基本目標：地域の皆様と協働でつくる「安全で誰もが安心して暮らせるまち」 II 目標達成に向けた施策：安全・安心のまちづくり
3 根拠法令・要綱等	港南区地域防犯活動補助金交付要綱、港南区地域子どもの安全対策協議会活動補助金交付要綱、交通安全対策基本法、スクールゾーン路面標示設置要領、スクールゾーン電柱巻標識取付要領、交通安全シルバーリーダーの養成と活動要綱、港南区交通安全シルバーリーダー連絡会規約、港南区安全安心まちづくり推進協議会規約

【実績の推移・今後見込み】

1 地域防犯活動支援団体数	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度	2年度予定	3年度見込み
補助金交付団体数	89団体	78団体	87団体	89団体	85団体	85団体
2 防犯寺子屋実施件数	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度	2年度予定	3年度見込み
参加校	21校	21校	21校	21校	19校	21校
対象・件数	1年生 21件 中・高学年 28件	1年生 21件 中・高学年 29件	1年生 21件 中・高学年 29件	1年生 21件 中・高学年 31件	1年生 13件 中・高学年 27件	1年生 21件 中・高学年 30件
3 交通安全対策 (スクールゾーン)	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度	2年度予定	3年度見込み
電柱巻標識	60箇所	88箇所	72箇所	60箇所	60箇所	60箇所
路面表示	54箇所	30箇所	16箇所	18箇所	18箇所	18箇所

【実施内容】

- 「安全安心まちづくり推進協議会」活動支援

交通安全、防犯、防火、防災、街の美化等を進めるため、区内主要駅で総合的な啓発活動を実施するとともに、構成団体が独自に実施している各種事業への支援及び連携強化を図ります。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を踏まえ、駅でのキャンペーンが困難な場合は、PRリーフレット等を作成し、区連会や回覧版等による代替案で啓発を行います。

 - 上大岡駅・港南台駅でのキャンペーン
 - 各季における交通安全運動、安全・安心まちづくり旬間、防犯啓発、火災予防運動など、警察署・消防署と協働によるキャンペーンの実施
 - 交通安全・防犯・防火功労者表彰式の開催

2 地域防犯活動の推進

(1) 自主的な防犯活動団体への支援

- ア 防犯活動団体に対して、活動経費の一部を補助します。
- イ 警察署と連携し、地域防犯団体と合同でパトロールを実施します。

(2) 子どもの見守り安全対策

- ア 防犯寺子屋（学校へ出向いての防犯講習）の実施
小学校1年生及び低、中、高学年を対象として、学齢に応じた防犯講習を実施し、子どもたちへの安全に対する意識を高めます。実施方法及び内容については、令和元年度の実績を踏まえて検討します。
- イ 地域子どもの安全対策協議会への支援
各小学校に設置されている「地域子どもの安全対策協議会」が独自に実施する事業に対して補助金を交付します。補助金交付にかかわる説明会については、説明会日程を増やし、小規模で開催するなど感染症防止対策を講じた上で実施します。また、協議会の小規模開催など、工夫して開催できるよう支援します。
- ウ 港南ひまわり83運動の普及・推進
地域ぐるみで児童・生徒の登下校を見守る「港南ひまわり83運動」について、啓発活動を行います。

3 交通安全対策

(1) 高齢者への交通安全対策

コロナ禍が継続して、区単位での活動が難しい場合、マスク着用・手指消毒・体温測定・人数制限等の必要な措置を講じた上で、交通安全教室や研修会を開催します。また、地区単位の研修の実施について支援を行っていきます。

(2) 子どもの交通安全対策

「地域子どもの安全対策協議会」の要望に基づき、通学路にある路面標示の補修・新設及び電柱巻標識を更新します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

安全安心まちづくりキャンペーンや地域子どもの安全対策協議会などで、登下校時の児童を見守る「83運動」を主とした見守り活動啓発を行います。開催の状況次第では、啓発チラシの郵送などによる対応を行います。

【障害者就労施設等からの調達取組】

表彰式の演台花などの消耗品購入を、可能な限り障害者就労施設から調達します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
安全安心まちづくり推進協議会	670	700	△ 30	実績による減
地域防犯活動の推進	4,642	5,250	△ 608	在庫の活用による減
交通安全対策	1,657	1,631	26	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	6,969	7,581	△ 612	

【根拠とするデータ等】

令和元年度港南区区民意識調査集計結果

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域運営推進 係
	大木 靖博	渡辺 格二郎	尾本 篤志

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成18年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名
災害に強いまちづくり事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	3
35	4
35	6

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	15,056					15,056
前年度	10,056					10,056
増△減	5,000	0	0	0	0	5,000

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	7,115	7,653	10,056	予	事業費	12,500	12,500
算	メリット+一般財源	7,115	7,653	10,056	算	一般財源	12,500	12,500
決	事業費	7,400	7,389	11,333	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
算	メリット+一般財源	7,400	7,389	11,333				

事業の概要(目的)	港南区の防災5箇条を活用し、幅広い世代に向けた自助、共助の啓発を推進することで、地域防災力の更なる強化を図ります。また、より迅速かつ的確な公助の体制強化のため災害対策本部機能の充実を図ります。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	これまで行ってきた震災に対する取り組みに加え、昨今激甚化しているゲリラ豪雨や台風等による風水害に関して、被害を最小限に抑えるため、区民に対して避難情報や避難場所の開設状況などの情報提供を確実に迅速に行う必要があります。これらについての的確に行うための災害対策本部の機能強化を進めます。また、災害発生時における避難場所内での新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、必要な防護備品の配備や避難場所内における環境の整備が必要となっています。地域においては、各種啓発事業や協議会等を通して自助及び共助を推進し、地域防災力の向上を図り、地域防災拠点に対しては、近年社会問題にもなった避難所における暑さ対策としてミストファンを継続して配備します。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等 6 区民要望 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	R01区運営方針 重点取組「1 安全・安心のまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	災害対策基本法、横浜市防災計画、港南区防災計画など

【実績の推移・今後見込み】

ミストファン導入数 (1拠点につき2台まで導入 検討)	2年度	3年度見込み	4年度見込み	5年度見込み	6年度見込み
	11拠点 全小学校完了	10拠点 全中学校完了	(2台目)11拠点 小学校	(2台目)10拠点 全小学校完了	(2台目)10拠点 (全中学校2台)

【実施内容】

1 地域防災力の向上事業

- ① 在宅避難の推進
 - ・家具の転倒防止・トイレパックの普及促進
- ② 子どもや子育て世代への防災啓発
 - ・ひまわり防災ツアーの開催(募集人数を絞るほか、従来のバスツアーから現地集合・現地解散も検討)
- ③ 地域防災拠点の機能強化
 - ・避難場所内における熱中症対策としてミストファンの導入
 - ・「みんなにやさしい避難所づくり」をテーマとしたワークショップの開催
- ④ 区民の防災意識啓発
 - ・防災講演会の実施
- ⑤ 防災ライセンスリーダーのスキルアップと拠点との連携強化
 - ・ライセンスリーダーフォローアップ講習(屋外)の実施(参加者の上限を設定し、複数回開催) □
- ⑥ 事業者との横断的な防災・減災の推進
 - ・防災対策連絡協議会等の開催

※②～⑥の各事業は、受付時の検温、手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保など感染症対策を徹底。

2 災害対策本部機能促進

- ① 災害時に迅速かつ適切な対応ができるよう、区本部の設備強化
 - ・港南区災害対策本部図の更新
- ② 災害発生時の区民に向けた情報発信の強化
 - ・電話回線を用いた区民の情報取得手段の確立

3 新型コロナウイルス対策

- ① 避難場所内における新型コロナウイルス感染拡大防止対策の強化
 - ・地域防災拠点における感染症対策物品の配備（マスク・アルコール消毒剤等）
 - ・風水害避難場所におけるプラスチックダンボール製間仕切りの追加配備
- ② 災害発生時の新型コロナウイルス感染拡大防止に関する啓発
 - ・災害発生時の在宅避難、親類・知人宅への分散避難の推進
 - ・避難時におけるマスク着用及び手洗いの徹底等の啓発

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】
 関係各課と連携し、子どもや子育て世代や要援護者など幅広い対象に対して防災啓発を進めていく。

【障害者就労施設等からの調達取組】

子ども向け防災啓発イベントでの景品発注

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 地域防災力の向上事業	9,356	8,506	850	実績に基づく増
2 災害対策本部機能促進	3,850	1,550	2,300	緊急時情報伝達システムの増
3 新型コロナウイルス対策	1,850	0	1,850	新規事業による増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	15,056	10,056	5,000	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務 係
	繁野 芳彰	中村 光彰	中村 光彰

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成19年度
------	-------------	---------	------	--------	--------

事業名	通学路カラー舗装化事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
20	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,500					5,500
前年度	5,500					5,500
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,000	2,000	5,500	予算	事業費	5,500	5,500
	メリット+一般財源	2,000	2,000	5,500		一般財源	5,500	5,500
決算	事業費	1,988	2,900	5,500	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	1,988	2,900	5,500	有:件名()、日付(年月)			
				(無)				

事業の概要(目的)	歩行スペースの確保や車両の速度を抑制させるため、路側帯のカラー舗装化による交通安全対策を実施します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>運転者の不注意やモラルの低下による、児童を巻き込んだ事故が各地で発生し、平成28年度には当区で児童の死亡事故が発生していることから、通学児童の安全安心を確保するため、歩道がない通学路等への安全対策を実施する必要があります。</p>
----------	--

地域の課題等の収集手段	8 その他
-------------	-------

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 目標達成に向けた施策 施策4 住み続けたいまちづくり
-------------	------------------------------------

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】	
	27年度実績 28年度実績 29年度実績 30年度実績 元年度実績 2年度見込み 3年度見込み
実施箇所	15 11 11 13 12 20 20
延長(m)	2,486 2,622 1,463 1,921 2,487 2,500 2,500

実績は区づくり推進費以外に別途道路局から配付されている予算で実施した合計値

【実施内容】
各小学校で開催される地域子どもの安全対策協議会の小規模開催等を踏まえ、要望の集約等を工夫し、通学路の安全確保を最優先に、危険度や地域のバランス等も考慮し、カラー舗装化を実施します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】
路側帯のカラー舗装化を行うことで、車と児童との交通事故(人為的災害)を防災・減災します。

【障害者就労施設等からの調達取組】
特になし

【事業費の内訳】			
	細目事業名 本年度 前年度 差引 説明		
	カラー舗装化 5,500 5,500 0 工事請負費		
		0	
		0	
		0	
		0	
	事業費合計 5,500 5,500 0		

【根拠とするデータ等】
港南区区民意識調査、広聴データシステム

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 麻生裕昌	係長 大塚陽三	道路係 牧迫 大
--------------------	------------	------------	-------------

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	令和2年度
------	-------------	---------	------	--------	-------

事業名	交通安全施設等補修事業
-----	-------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
20	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,000					3,000
前年度	3,000					3,000
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費			
決算 メリット+一般財源			
予 算 事業費			
決算 メリット+一般財源			

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	3,000	3,000
決算 一般財源	3,000	3,000

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
⑧

事業の概要(目的)	ガードレール、車止め等の安全施設の補修や車両の速度を抑制させるため、路面標示の補修による交通安全対策を実施します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>運転者の不注意やモラルの低下による、児童を巻き込んだ事故が各地で発生し、平成28年度には当区で児童の死亡事故が発生していることから、通学児童の安全安心を確保するため、通学路等への安全対策を実施する必要があります。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	8 その他
-------------	-------

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 目標達成に向けた施策 施策4 住み続けたいまちづくり
-------------	------------------------------------

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

	2年度見込み	3年度見込み
実施箇所	10	10

【実施内容】

各小学校で開催される地域子どもの安全対策協議会の小規模開催等を踏まえ、要望の集約等を工夫し、通学路の安全確保を最優先に、危険度や地域のバランス等も考慮し、安全施設の補修を実施します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

交通安全施設等補修を行うことで、児童が安全・安心して通学できるようになります。

【障害者就労施設等からの調達取組】

特になし

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
交通安全施設等補修	3,000	3,000	0	工事請負費
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	3,000	3,000	0	

【根拠とするデータ等】

港南区区民意識調査、広聴データシステム

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	道路係
	麻生裕昌	大塚陽三	上村秀男

[港南区 地域振興課]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	------	--------	-------

事業名	区民活動・生涯学習事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	33
主な施策番号	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,630					1,630
前年度	2,460					2,460
増△減	△ 830	0	0	0	0	△ 830

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	2,801	2,801	2,400	事業費	1,630	1,630
メリット+一般財源	2,801	2,801	2,400	一般財源	1,630	1,630
決算	2,262	2,282	2,020	方針に関する決裁 種別()		
決算	2,262	2,282	2,020	有:件名()、日付(年月)		
(無)						

事業の概要(目的)	市民活動・地域活動や生涯学習の自主的な活動をサポートし、地域の担い手の育成や地域の一層の活性化に繋げるため、さまざまな講座や交流会を開催します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

- 平成27年度の区民意識調査によると、地域コミュニティ(地域社会)に必要なこととして、「自分のできる範囲で気軽にボランティアとして参加できる仕組みづくり」が挙げられています。また、同調査では、「自分の能力・興味に合せて活動を紹介してくれる制度」も求められています。
- 子育て中の母親が、区の事業や地域活動に参加できるようにするために、一時託児が活用されており、高いニーズがあります。
- 団体・グループは、活動のPRなど情報を発信できる手段や運営の支援、他の団体との交流を求めています。
- 子育て、高齢化などの問題を、区民が主体的に学び、共有する機会が求められています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係

3 根拠法令・要綱等

横浜市市民協働条例 市民活動支援センター事業展開ガイドライン 横浜市生涯学習基本構想 横浜市生涯学習推進指針 港南区民活動支援センター事業要綱 港南区「街のアドバイザー」事業要綱、港南区区民企画運営講座運営費補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度見込	3年度見込
グループガイド登録グループ数	257	259	210	243	304	323	288	300	300
街のアドバイザー人数	184	195	222	196	200	167	180	200	200
タネット登録グループ数	240	229	278	277	252	241	207	250	250
タネットアクセス数	34,368	100,201	129,853	97,869	121,249	147,170	137,753	125,000	125,000

【実施内容】

- (1) 地域振興課事業
- ※コロナ禍が継続した場合、必要な感染対策を講じた上で交流会や講座を開催します。
 - 区民企画運営講座の実施
 - 区民企画運営講座交流会の実施
 - 人材養成講座の実施
- (2) 施設間連携事業(旧区民活動支援センター事業)
- 各公共施設への書類配送
 - ネットワーク事業
 - 区民活動支援センターとの協働事業実施
 - ケアプラザコーディネーター会議への参加
 - 子育て連絡会への参加
- 【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】
- 区民活動支援センター及び区民利用施設にて「港南区の防災5か条」「健康アクションこうなん5」のチラシを掲示し防災・減災に関する啓発を行います。
 - 高齢者を対象にした講座を実施し、活動のきっかけづくり・生活の質の向上と生きがいづくりに貢献します。
 - 高齢者や障がい者も参加しやすいように筆記通訳の導入などを行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域振興課事業	740	740	0	
施設間連携事業（旧区民活動支援センター事業）	890	1,720	△ 830	区民活動支援センター 委託化に伴う減
事業費合計	1,630	2,460	△ 830	

【根拠とするデータ等】

事業開催時のアンケート等による

本資料は、公正・適正に作成しまし	課長	係長	区民活動支援 係
	大木 靖博	片山 宏之	福山 秀子

（ 港南 区 - 17 ）

（様式3-1） 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[港南区 地域振興 課]

No.	18
-----	----

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	地域文化推進事業
-----	----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	5	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	720					720
前年度	720					720
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	1,200	720	720	予算 事業費	620	620
メリット+一般財源	1,200	720	720	一般財源	620	620
決算 事業費	1,130	670	696	方針に関する決裁 種別()		
決算 メリット+一般財源	1,130	670	696	有:件名()、日付(年月)		

無

事業の概要(目的)	港南区では文化活動に取り組む人や団体を支援し、地域文化が盛んとなるきっかけ作りをすることで、地域文化を推進します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ こうなん文化交流協会の役員や会員には高齢の方が多く、地域文化の担い手の高齢化が懸念されます。 ・ 地域で開催される文化活動に対しての広報での支援や公的な支援が期待されます。 ・ 区民の作品や活動内容が発表でき、展示できる場や機会が望まれています。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 施策3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり
-------------	---------------------------------

3 根拠法令・要綱等	こうなん文化交流協会補助金交付要綱
------------	-------------------

【実績の推移・今後見込み】

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度見込み	3年度見込み
文化交流協会会員数	1,165	1,126	1,099	1,062	1,134	1,011	946	1,000	1,000

【実施内容】

- (1) 文化交流協会支援事業
こうなん文化交流協会が行う、地域の文化活動を効果的に推進し、区民の文化振興及び地域社会の発展に寄与する事業に補助金を交付します。また、共催である港南区区民文化祭を含め、協会に助言・支援を行っていきます。
- (2) 港南中央がれりあ事業
文化活動の発表の場の提供と、公共の場のうおい作りのため、管理運営委員会により港南中央がれりあ(平成18年10月より港南中央駅に設置してあるショーケース)での作品展示を行います。
- (3) 文化行事支援事業
区内活動団体が、区民を対象に公共的公益的に実施する文化行事等に対し後援を行い、主体的な文化活動の側面支援を行います。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

区内文化行事の広報支援等を行い、区民の文化活動参加を促し、文化を通じた居場所づくりや生きがいづくりを支援します。

【障害者就労施設等からの調達取組】

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
文化交流協会支援事業	600	600	0	補助金
文化行事支援事業	120	120	0	地域文化推進費
事業費合計	720	720	0	

【根拠とするデータ等】

令和元年度港南区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	青少年育成担当
	大木 靖博	三枝木 武	浅井 美保

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[港南区 地域振興課]

No. 19

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	地域スポーツ応援事業
-----	------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	7	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,150					2,150
前年度	2,150					2,150
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	4,471	4,010	2,150	予算 事業費	2,150	2,150
メリット+一般財源	4,471	4,010	2,150	予算 一般財源	2,150	2,150
決算 事業費	4,471	4,010	2,150	方針に関する決裁 種別()		
決算 メリット+一般財源	4,471	4,010	2,150	有:件名()、日付(年月)		

事業の概要(目的)	一人ひとりが元気に暮らせるまちづくりを目指して地域での健康・仲間づくりを進めるため、誰もが楽しめるスポーツの普及を促進し、身近な地域で多世代が運動を楽しむための活動を支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

・少子高齢化社会を迎え、個人における体力の維持向上や健康管理が大きな課題となっています。そのため、スポーツを通じた健康づくりに対する意識を高め、区民の健康維持・増進を図る必要があります。
 ・地域スポーツ団体の事務局等運営人員も高齢化が進んでいます。今後も継続してスポーツイベントによるスポーツへの関心及び健康を意識する機会を区民に提供するため、事務局等の後継者を育成する必要があります。
 ・地域の世代を超えた交流が希薄になっている中で、地域の一体感を醸成するための活動のひとつとして、スポーツを通じた地域住民の交流を図る必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係

3 根拠法令・要綱等

港南区スポーツ推進委員連絡協議会活動補助金交付要綱、港南区健康ランニング大会事業補助金交付要綱、港南区スポーツ協会補助金交付要綱、横浜市スポーツ推進委員規則、スポーツ基本法

【実績の推移・今後見込み】

1. 港南区健康ランニング大会参加人数

年度	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込	R3年度見込
人数	1121	1136	1130	1095	1090	0※	1090

2. こうなんファジーバレーボール大会参加人数

年度	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込	R3年度見込
人数	311	282	256	213	210	0※	210

3. スポーツ・エンジョイ・フェスティバル参加人数(港南区体育協会補助金)

年度	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込	R3年度見込
人数	700	600	630	650	570	0※	600

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止のため見込人数は0人です。

【実施内容】

1. 港南区健康ランニング大会事業補助金

小学生以上の区民を対象に、区民の健康・体力づくりや地域交流の場となることを目的として、旧野庭中学校周辺で本大会を実施するため、港南区健康ランニング大会実行委員会へ補助金を交付します。(1月) コロナ禍においては、代替方法で実施予定です。

2. 港南区スポーツ推進委員活動支援

(1) こうなんファジーバレーボール大会補助金

年齢や経験を問わず、区民が気軽に楽しむことができる本競技をより一層振興して区民の健康・体力づくりを行うため競技大会の開催を支援します。(10月) (港南区スポーツ推進委員 事業部会として開催)
 コロナ禍においては、スポーツ推進委員と検討して実施します。

(2) ラジオ体操普及活動補助金

区民の健康づくり推進のため、ラジオ体操を地域に普及します。地域でのラジオ体操会の開催、各種イベントでのラジオ体操の指導をスポーツ推進委員全体で実施します。
 また、指導者育成のため、ラジオ体操指導者講習会への参加も促進します。(通年)

【区役所を挙げて取り組むテーマ「見守り・支えあい」「健康づくり」「安全・安心のまちづくり」】

健康づくりのために行っている各種事業に、より多くの方に参加してもらえるよう、様々な場で事業のPRを行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
港南区健康ランニング大会補助金	1,500	1,500	0	実行委員会への補助
こうなんファジーバレーボール大会補助金	200	200	0	スポーツ推進委員連絡協議会への補助
ラジオ体操普及活動補助金	100	100	0	スポーツ推進委員連絡協議会への補助
港南区スポーツ協会補助金	350	350	0	区スポーツ協会への補助
			0	
			0	
事業費合計	2,150	2,150	0	

【根拠とするデータ等】

令和元年度港南区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	区民活動支援 係
	大木 靖博	片山 宏之	鈴木 伽奈子

[港南区 地域振興 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成18年度
------	----------------	---------	---------	--------	--------

事業名
青少年みらい応援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
29	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,010					6,010
前年度	6,420					6,420
増△減	△ 410	0	0	0	0	△ 410

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	7,590	6,275	6,640	予	事業費	6,010	6,010
算	メリット+一般財源	7,590	6,275	6,640	算	一般財源	6,010	6,010
決	事業費	7,561	5,758	5,920	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年 月) 無			
算	メリット+一般財源	7,561	5,758	5,920				

事業の概要(目的)	子どもたちが地域で健やかに成長できるよう、地域で活動する団体等を支援するとともに、子どもたちが夢と希望をもって成長できるように応援します。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	近年、青少年を取り巻く環境は、大きな変化を遂げています。人と人とのコミュニケーションを直接取ることが少なくなり、友達同士の会話も、画面の文字で行われることが多い状況です。地域の中で、子どもたちと大人とが接する機会を設け、声掛けや見守りにつなげることが必要です。また、将来に不安が広がりかねない社会状況の中、子どもたちが夢や目標を持ち、いきいきと活動できるよう、支援していくことが求められています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	港南区運営方針「施策2 見守り・支えあいのまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	港南区地域で育て子どもたち事業補助金交付要綱、港南区青少年活動事業補助金交付要綱、港南区青少年文化スポーツ活動区長表彰要綱、港南子どもゆめワールド補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	令和2年度見込	令和3年度見込
ゆめワールド出店団体数	65	65	65	※	65
ゆめワールド出演団体数	26	22	23	※	22
ミュージックフェスタ出演団体数	12	12	5	※	8
地域で育て補助金交付団体数			13	15	15

※令和2年度のゆめワールド、ミュージックフェスタは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため通常開催を中止

【実施内容】

1 青少年の健全育成

(1) 健全育成活動の支援

- ・地域が実施する「子どもたちが地域に愛着を持ち、健やかに成長するための事業」に対して補助金を交付します（港南区地域で育て子どもたち事業補助金）
- ・区内で活動する子ども会連絡協議会及び、港南台中央公園生き生きプレイパーク管理運営委員会が実施する事業に補助金を交付します。（港南区青少年活動事業補助金）

(2) 講演会の開催

子どもたちが自らの夢や希望を持ち、それに向かって努力することの大切さを伝え、将来について考えるきっかけとなるような講演会を開催します。

2 青少年の活動支援

(1) 港南区青少年文化スポーツ活動区長表彰

部活動などの文化、スポーツ活動において、区民を勇気づけるような優秀な活動を行った区内の青少年を表彰します。

(2) ひまわりミュージックフェスタの開催

子どもたちが夢と希望を持ち、仲間との交流を通して互いに認め合う心を育むことを目的として、港南区内の小中学生にダンス・演奏・合唱の発表会の場を提供します。

3 子ども向けイベント事業

(1) こうなん子どもゆめワールド

次代を担う子どもたちが地域社会や世界に目を向け、幅広い視野や自主性・創造性を育み、健やかに成長できるよう、地域における異世代交流や国際交流の場を提供し、青少年の健全育成推進を図ることを目的として「こうなん子どもゆめワールド」を開催する、こうなん子どもゆめワールド実行委員会に補助金を交付します。

(2) ひまわりフェスタのPR

こうなん子どもゆめワールド会場周辺で同日に開催されるイベント（総称：ひまわりフェスタ）に一体感を持たせるため、スタンプラリーを実施するなど、ひまわりフェスタをPRします。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

青少年の健全育成活動を支援する補助金は、子どもたちを地域ぐるみで見守ることにつながります。

【障害者就労施設等からの調達の取組】

日野中央高等特別支援学校に、区長表彰の記念品として表彰楯の作成を依頼しています。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 青少年の健全育成	1,780	1,780	0	補助金、講演会費
2 青少年の活動支援	930	1,380	△ 450	制度変更・余剰品活用による減
3 子ども向けイベント事業	3,300	3,260	40	ひまわりフェスタ対象施設の拡大による増
事業費合計	6,010	6,420	△ 410	

【根拠とするデータ等】

港南区民意調査・非行少年の種類別検挙補導人員（神奈川県警察本部生活安全部少年育成課）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	青少年育成担当
	大木 靖博	三枝木 武	政木 優子

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	地域で子育て応援事業
-----	------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
29	4
30	4
31	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,219		41			7,178
前年度	6,862		41			6,821
増△減	357	0	0	0	0	357

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	9,938	7,960	7,608
メリット+一般財源	9,865	7,960	7,608
決算	9,256	7,950	7,403
決算	9,202	7,950	7,403

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	7,219	7,219
一般財源	7,178	7,178

方針に関する決裁 種別()
有:件名 ()、日付 (年 月)
無

事業の概要(目的)	安心して子育てができるよう、子育ての居場所機能の充実、保育園等と連携した事業、育てにくさを感じる子育てについての相談・啓発事業、地域の0歳児赤ちゃん教室、ランチ交流や絵本の貸出事業を展開していきます。また、DVや虐待等困難な問題を抱える家庭の支援をします。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

- ・孤立による育児不安を抱える親が増えるなか、子育ての居場所や身近な相談の機会が必要です。
- ・育てにくさや障害がある子どもをもつ養育者が安心して子育てできるよう支援が必要です。
- ・1歳以上の子どもの死亡原因が「不慮の事故」であったり、近年、自然災害も多く発生している中、事故予防や発災時に養育者が適切に行動をとれるようにする必要があります。
- ・複雑な家族関係や親の精神疾患、DV等 対応困難なケースが増えるなか、子どもの虐待の早期発見、適切な対応のための職員のスキル向上が求められています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望
-------------	------------	--------

2 運営方針等との関係

施策3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり

3 根拠法令・要綱等

子ども・子育て支援事業計画、子ども子育て支援法、養育ネットワーク事業実施要項、港南区保育園プチ体験事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】

①エリア別子育て支援事業

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
子育ての居場所(延べ人数)	3,500人(2か所)	695人(1か所)	508人(1か所)	700人	700人

②育てにくさを感じる子育て支援事業

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
園庭開放	4園実施	4園実施	3園実施	2園実施	2園実施
支援者講座	-	-	-	-	30人
講演会	27人	36人	26人	35人	
ペアレントトレーニング講演会	-	44人	31人	35人	
ペアレントトレーニング講座	6人	7人	8人	8人	
区民向け啓発媒体					5,000枚

③子ども家庭相談事業

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
DV等弁護士相談	15件	28件	29件	35件	35件

④0歳児赤ちゃん教室事業

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
赤ちゃん教室(延べ人数)	4,429人	3,975人	3,704人	4,000人	4,000人

⑤保育魅力アップ事業

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
公立7園	公立7園	公立7園	公立6園	公立5園	公立5園
プチ体験	173人	138人	120人	100人	100人
貸出絵本	1,445冊	947冊	579冊	600冊	600冊

【実施内容】

- ①エリア別子育て支援事業
 - ・子育ての居場所（あっぷっぷ）の実施：毎週火、水、金 10時～12時、野庭第二保育園内で実施
 - ・こうなん子育て応援ガイドブックひまわりまっぷの作成（4,000部）
 - ・災害時・救急時の対応ブックの作成（5,500部：区内保育・教育施設等4,000部、乳幼児健診1,500部）
- ②育てにくさを感じる子育て支援事業
 - ・園庭開放見守りの充実：センター園を除く市立保育園2園
 - ・支援者向け講座、啓発媒体作製
 新型コロナ感染拡大のため、より広く身近な場で啓発ができるよう、子育て支援に携わる方を対象とした講座の実施とともに、区民向け啓発媒体を作製します。
 - ・情報発信の強化
 子育てのちょっとした悩み事に対する子育てQ Aや育児支援コラム等を、ホームページで発信するなど、保健師と保育士が一緒になって、安心して子育てができるよう支援します。
- ③こども家庭相談事業
 - ・専門相談の実施：月1回
- ④0歳児赤ちゃん教室事業等【対象：第1子の0歳児とその養育者・妊婦】
 - ・区内14会場（町内会館等）、各会場 11回／年
 - ・事業実施にあたっては、事前予約制にし密を避けるとともに、アルコール消毒などの感染症予防対策を徹底します。
- ⑤保育魅力アップ事業【対象：地域の親子】
 - ・プチ体験の実施：1～2回／月、公立保育園5園（5月～3月）
 - ・絵本の貸出の実施：市立保育園5園（通年）
 - ・地域ケアプラザとの育児講座への支援：市立保育園5園（通年）
 - ・区内保育・教育施設での啓発用看板追加作成（10枚）
 - ・事業の実施にあたっては、アルコール消毒などの感染症対策を徹底します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「見守り・支えあい」「健康づくり」「安全・安心のまちづくり」】

- ・園庭開放や公園遊び等を通じて、外遊びや運動の大切さを養育者に実感してもらいます。
- ・赤ちゃん教室において、歯科衛生士や栄養士等が講話を行うことで、健康への意識啓発を促します。
- ・災害時の対応ブックを乳幼児健診や保育園等で配布し、子育て世代向けの防災啓発に取り組みます。

【障害者就労施設等からの調達取組】

- ・各種物品の調達について検討します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
①エリア別子育て支援事業	3,543	3,343	200	感染症対策、配布先拡大による増
②育てにくさを感じる子育て	1,008	1,060	△ 52	実施内容見直しによる減
③こども家庭相談事業	360	360	0	
④0歳児赤ちゃん教室事業	1,249	1,189	60	感染症対策による増
⑤保育魅力アップ事業	1,059	910	149	育児支援強化のための増
			0	
事業費合計	7,219	6,862	357	

【根拠とするデータ等】

- ・法律相談予約簿
- ・各講演会等参加受付簿
- ・健診、教室等受付簿
- ・母子手帳交付数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	平野 千景	山岡 佐江子	

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[港南 区 こども家庭支援 課]

No.	22
-----	----

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成26年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	「切れ目のない」子育て支援事業
-----	-----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
24	1
24	4
24	5

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,123					1,123
前年度	920					920
増△減	203	0	0	0	0	203

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	350	450	910
メリット+一般財源	350	450	910
決算	350	416	1,003
決算	350	416	1,003

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	1,123	1,123
一般財源	1,123	1,123
方針に関する決裁 種別()		
有:件名()、日付(年月)		
無		

事業の概要(目的)	未就学児童の保護者に対して、保育園や幼稚園の情報を提供します。また、子どもの就学後も、共働きやひとり親世帯の保護者が安心して仕事と子育ての両立ができるよう、子どもの放課後の居場所(預け先)に関する情報提供や、相談機会の充実等の支援を実施します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	保育所や幼稚園を利用したい保護者に、区内施設の情報をわかりやすく提供することが求められています。また保護者が、子どもの小学校入学後も安心して仕事と子育ての両立ができるよう、放課後の居場所(預け先)に関する情報や相談機会を、適切な時期に提供することが求められています。保護者や子どもが保育所等から放課後の居場所へ円滑に移行できるよう、関係機関の連携が求められています。
地域の課題等の収集手段	6 区民要望
2 運営方針等との関係	施策3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり
3 根拠法令・要綱等	子ども・子育て支援法、児童福祉法、横浜市放課後キッズクラブ事業実施要綱、横浜市放課後児童クラブ事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】

	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み	令和4年度見込み
放課後の居場所相談実施校数	21	21	21	21	21
港南区放課後まっぷ発行部数	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
保育所一覧 発行部数	5,500	3,500	4,500	4,500	4,500
幼稚園一覧 発行部数	5,500	2,000	2,000	2,000	2,000

【実施内容】

- ①小学校就学時健康診断会場における放課後の居場所相談の実施
小学校で実施する就学時健康診断の会場において、放課後キッズクラブや放課後児童クラブのスタッフにより実施する「放課後の居場所相談」のより効果的な開催方法を検討し区内全小学校21校で実施します。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を踏まえ、ブースを設置した相談が困難な場合は、例年よくある質問などをまとめた資料を作成し、就学通知とあわせて送付するなど、代替案で対応します。
- ②乳幼児期から学童・思春期の子育て支援
育てにくさを感じる子ども等に関して、保護者や子どもにかかわる方が専門的な相談・アドバイスを受けられるよう「子ども・家庭支援相談」についてチラシ等で周知します。4月から区役所でチラシを配布開始し、6～7月に小中学校、保育所・幼稚園、医療機関、区民利用施設等に配布します(計16,500部)。
- ③「港南区放課後まっぷ」の発行、配布
放課後の居場所に関する情報をより多くの方が適切な時期に得られるよう、港南区放課後まっぷを発行、配布します。4月から区役所で配布開始し(1,000部)、6月～7月に区内保育所・幼稚園(2,000部)、11月に就学時健康診断会場にて配布(2,000部)します。
- ④区内の保育所一覧、幼稚園一覧の作成、配布
保育・教育施設の入園申込書類と同封する区内保育施設一覧を作成し、10月から区役所、行政サービスセンター、保育所で配布します。また、待機児童対策のために、幼稚園の案内を強化する目的で区内幼稚園一覧を作成し、10月から区役所で配布します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「見守り・支えあい」「健康づくり」「安全・安心のまちづくり」】

- ・放課後施設利用の子どもに向けた防災の啓発
保護者や子どもの防災意識向上促進のため、区役所備蓄食料や防災ガイドを活用した取組を放課後の居場所のイベントで実施します。（区総務課と連携）

【障害者就労施設等からの調達取組】

- ・各種印刷物の発行や、発送作業の調達について検討します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
「切れ目のない」子育て支援事業	1,123	920	203	印刷経費・郵送経費の増
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,123	920	203	

【根拠とするデータ等】

保育所待機児童数・保留児童数、就学前児童数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	野澤 裕美	関 美有希	夏目 誠也

(港南 区 - 22)

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名	地域福祉保健活動推進事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,744					4,744
前年度	6,634					6,634
増△減	△ 1,890	0	0	0	0	△ 1,890

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	3,758	3,063	4,445
メリット+一般財源	3,758	3,063	4,445
決算			
事業費	3,100	2,744	4,181
メリット+一般財源	3,100	2,744	4,181

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	4,000	4,000
一般財源	4,000	4,000

方針に関する決裁種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	第4期港南ひまわりプラン(港南区地域福祉保健計画)を関係機関・団体と連携して策定するとともに、地域の見守り活動・支え合い活動の充実を図ります。また、平時から医師会等と連携し、災害時における医療体制の充実を図ります。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	第4期港南ひまわりプラン地区別計画推進のため、自治会・町内会、地区社会福祉協議会をはじめ、各地域の活動団体等が一体となって取り組めるよう、支援していく必要があります。 区計画については、第4期計画推進のため、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、関係機関等の連携がより一層進むように取り組んでいく必要があります。 高齢者、子ども、障害児・者等に対する見守り活動の推進のため、事業者等も含め地域で支え合うシステムの充実が必要です。 平時から区内の関係機関と災害医療に関する意見交換や情報共有を行う必要があります。区役所も災害時に円滑な活動ができるよう、職員への啓発及び資器材の充実を図り、区の実情に応じた災害時の医療体制を構築する必要があります。
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度 4 地区懇談会 7 関係団体からの要望 1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	地域の皆さまと協働で進める地域づくり
3 根拠法令・要綱等	社会福祉法、横浜市市民協働条例、横浜市地域ケアプラザ条例、同施行規則、同事業実施要綱、港南区地域福祉保健計画、ボランティアフェスティバル等補助金交付要綱、港南区障害児・者ふれあいスポーツ大会補助金交付要綱、港南区港南ひまわりプラン応援補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】
1 港南ひまわりプランの推進
(1) 地域福祉保健推進協議会の開催 3回予定 (30年度：3回、元年度：3回、2年度：5回)
(2) 港南ひまわりプラン推進に関する研修・交流の実施 しゃべっCiao♪ 1回予定(30年度：1回開催、元年度：1回開催、2年度：中止) 地域支援チーム研修 1回予定(30年度：1回、元年度：1回、2年度：中止)
※(1)及び(2)の会議や研修は、アルコール消毒や検温、ソーシャルディスタンスの確保などの感染症防止対策を徹底した上で実施します。
(3) 見守り協力事業者の取組推進 見守り通信事業者通信を2回発行予定 (30年度：2回発行、元年度：2回発行、2年度：2回発行)
(4) 港南ひまわりプラン応援補助金の交付 10団体予定 (30年度：10団体(新規1、継続9)、元年度：8団体(新規2、継続6)、2年度：2団体(継続2))
(5) ボランティアフェスティバルへの助成 (30年度：11/18開催 50団体(約800人)、元年度：11/17開催 50団体(約800人参加) 2年度：中止)
(6) ふれあいスポーツ交流会への助成 (30年度：10/14開催(約380人)、元年度：台風19号のため中止、2年度：中止)
※(4)～(6)の補助金交付団体に対して、活動を実施する上での「新しい生活様式」への対応を促します。
2 地域ケアプラザ運営推進 ※「新しい生活様式」への対応にかかる相談支援も行います。 30年度から元年度：日限山地域ケアプラザの指定管理者の再選定 元年度：ケアプラザ紹介冊子の改定 元年度から2年度：地域ケアプラザの指定管理者(7施設)の再選定

3 災害医療対策

- (1) 災害医療連絡会議の開催 3回予定 (30年度3回、元年度3回、2年度3回)
 - (2) 災害医療合同訓練の実施 1回予定 (10月頃) (30年度10/20実施、元年度10/19実施、2年度10/22予定)
 - (3) 災害拠点病院など関係機関とのMCA無線等による通信訓練 9回予定 (30年度9回、元年度9回、2年度5回)
- ※(1)～(3)の会議や訓練は、アルコール消毒や検温、ソーシャルディスタンスの確保などの感染症防止対策を徹底した上で実施します。

【実施内容】

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

- ・区内の医療関係団体、災害拠点病院等との連携強化を図るため、平時から災害医療に関する意見交換や情報共有等を行うとともに、災害医療に関する訓練や研修を行う。
 - ・区内の事業者にも緩やかな見守りに協力いただき、ちょっとした変化に気づいた際には地域ケアプラザなどに相談するなど、港南区の見守り・支えあいを進めていく。
 - ・ひまわりプラン分野別4テーマの1つ「健康づくり」の推進をひまわりプラン応援補助金などを活用するとともに、各課連携した取り組みが進むように調整役を担う。
- ※上記の取組を進める上では、「新しい生活様式」を踏まえ、感染症拡大防止策を徹底します。

【障害者就労施設等からの調達取組】

- ・啓発グッズ等の作成委託

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 地域福祉保健計画の推	4,054	6,184	△ 2,130	第4期ひまわりプラン策定完了による減
2 地域ケアプラザ運営推	80	80	0	
3 災害医療対策費	610	370	240	救護隊用テント等の購入による増
事業費合計	4,744	6,634	△ 1,890	

【根拠とするデータ等】

第3期横浜市地域福祉保健計画 最終評価結果、平成31年度 地域ケアプラザ事業実績評価、港南区区民意識調査(元年度)、データブック港南、わが町港南 等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	森山 裕正	福岡 智央	児島 智之

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成19年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	健康アクションこうなん5推進事業
-----	------------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1, 2, 3, 4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位: 千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	7,743	0	0		7,743
前年度	7,546	0	0		7,546
増△減	197	0	0	0	197

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	5,319	5,340	6,968
メリット+一般財源	5,319	5,340	6,968
決算	4,825	5,140	6,661
決算	4,825	5,140	6,661

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	7,743	7,743
一般財源	7,743	7,743

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	持続可能な社会をつくるため、健康寿命の延伸を目指します。そのためには、生活習慣病予防を推進し、同時に「がん」及び「特定健診」の普及啓発を実施するなど、健康づくりの合言葉「健康アクションこうなん5」に基づき取り組みます。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	<p>●持続可能な社会づくりのためには、誰もが健康であり続けることが求められ、各世代で生活習慣病予防を推進する必要があります。特に日々の忙しさから食生活等が乱れがちになる働き・子育て世代は、運動する機会も少ない状況にあるため、重点的に生活習慣の改善を啓発していく必要があります。</p> <p>●区民意識調査では、過去2年間がん検診を受けていないと答えた人は、55%でした。検診の内容や費用などを啓発・理解してもらい、がんの早期発見・早期治療につなげることが、がん対策を進めるうえで必要です。</p> <p>●特に働き世代は、健康づくりに関心が薄い傾向にあり、生活習慣の改善がなかなか進みません。企業にとっても、従業員が健康であることは重要であることから、企業と一緒に健康経営の取組を進めます。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート 6 区民要望
2 運営方針等との関係	施策3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり
3 根拠法令・要綱等	地域保健法、高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法、がん対策基本法、横浜市がん撲滅対策推進条例、健康横浜21(第2期)

【実績の推移・今後見込み】

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み
出前講座(実施回数)	77回	70回	51回	40回	60回
ひまわり健康フェア 来場者数 (うち、がん検診啓発 ブース来場者数)	821人 (127人)	957人 (623人)	1,000人 (354人)	1,000人 (500人)	1,000人 (600人)
中学生の食育講座	5校/1,147人	7校/841人	5校/720人	5校/720人	7校/800人
区内横浜健康経営 認証事業所数	5事業所	20事業所	24事業所	50事業所	50事業所

【実施内容】

(1) がん検診の受診促進

28年度の市民意識調査では、区内女性の肺がん検診受診率は21.6%、大腸がん検診受診率は27.1%と低いことから、女性の受診率を向上させるために、肺がん検診時に女性が受診しやすくし、大腸がん検診について啓発を強化します。さらに、医師会と協働で、診察室で検診を勧められる啓発ツール(リーフレット)を配布します。
引き続き、区内小学6年生を対象に、喫煙防止教室を年に約4校実施するとともに、区内全6年生にリーフレットを配布し、喫煙防止の大切さを伝えます。

(2) 働き子育て世代の健康づくり

①母子の健康づくり

子育て中の母親を対象に、骨密度測定や栄養指導、口腔ケアなどを実施し、つい後回しになりそうな母親の健康づくりを支援するほか、4か月健康診査、3歳児健康診査時に保護者に対して、生活習慣病の予防啓発を実施します。乳幼児や子育て世代の現状把握により課題を洗い出し、肥満予防やお弁当レシピの提供など、こどもの時からの健康づくりを目指します。

②「健康経営」の推進

区内企業と一緒に従業員の健康づくりを行います。

- ・出前講座・健康相談により、企業の実情に即した従業員の健康づくりを提案していきます。合わせて「健康経営」の考え方を周知し、認証取得を働きかけます。
- ・認証取得した区内企業と連携しながら他の区内企業に向けてPRし、認証の働きかけを行うとともに、健康づくりをより効果的に進めるため、ランクアップの支援、専門職の派遣を行います。

(3) オーラルフレイル（口腔機能の低下）対策の促進

「横浜市歯科口腔保健の推進に関する条例」に基づき、関係団体と連携し、健康寿命延伸に向けて、オーラルフレイル（加齢に伴う口腔機能の緩やかな低下）対策を進めていくために、関係団体職員に向けた啓発が必要です。

支援が必要な人を含む全ての人に、オーラルフレイル対策等の歯科口腔保健サービスや取組が普及していくために、啓発のための教材等を区の歯科医師会と連携して作成します。

2 健康アクションこうなん5の推進

(1) 「あるこう！毎日」推進事業

ウォーキングが健康維持にとって有効であることや、効果的な運動方法などの講義・実技を行い、区民の意識や意欲を高めます。また、ウォーキングマップを改定し、幅広い年代の区民に向けて啓発を行います。

また、食生活等改善推進員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員等が連携し、それぞれを所管する各課と連携しながら、区民がウォーキングを通して交流を行うことを目的としたウォーキングイベントを開催します。開催方法については、状況をみながら検討します。

◎港南ふれあいウォーキング開催

(2) 「たべよう！野菜」推進事業

朝食の欠食率が高くなる中学生を対象に、食の大切さを伝え、望ましい食習慣の形成を促す支援を行います。また離乳食期の子どもの保護者を対象とした食の啓発のほか、障害者の食の健康についても取り組んでいきます。

◎中学生の食育講座 ◎離乳食スタートごっくん教室 ◎障害者への食育取組 ◎やさいたっぷりパンの販売支援

(3) 「まもろう！歯」推進事業

14か月以下の子どもとその保護者を対象に、歯科衛生士や栄養士による講話、歯磨き実習等を行い、親子そろって一生自分の歯で食べ、健康に過ごすための基礎となる健康な口腔ケアを支援します。

◎親子の歯の健康教室

◎オーラルフレイル（口腔機能の低下）対策の促進

(4) 「やすもう！しっかり」推進事業

自殺対策事業や心の健康づくり事業として、高齢・障害支援課と連携し、働き・子育て世代を対象に、職域への働きかけを行います。

◎出前講座等

(5) 「がん対策と健康診断」推進事業

活動団体を中心にがん予防啓発や健康づくりに関する人材育成を実施し、協働で啓発活動を行うとともに、講演会の実施、小学校での喫煙防止啓発、地域でのイベント開催、及びがん検診を受けやすくするなど、区民のがん予防啓発とがん検診の受診率の向上を図ります。

◎がん講演会の開催 ◎小学校でのリーフレット等の喫煙防止啓発 ◎肺がん検診時の保育支援 ◎がん検診等の受診率向上に向けたリーフレットを医療機関で配布(内容の見直し等の検討会を開催)

(6) 出前講座・健康相談

必要に応じて、子育て団体や、健康づくりグループ等へ出前講座を行っています。また個別に健康相談を行っています。健康づくり支援を効果的に行うために、行動変容を取り入れた支援を実施します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

港南区食生活等改善推進委員会の活動を支援し、災害時の食など防災時の健康について周知します。

【障害者就労施設等からの調達の取組】

啓発物の作成委託

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
「あるこう！毎日」推進事業	2,086	2,086	0	
「たべよう！野菜」推進事業	597	922	△ 325	在庫の活用による印刷費の減
「まもろう！歯」推進事業	1,238	438	800	オーラルフレイル予防・啓発事業【新規】
「がん対策と健康診断」推進事業	1,087	1,265	△ 178	ひまわり健康手帳見直しによる減 マスコットの増
「やすもう！しっかり」推進事業	24	24	0	
働き・子育て世代の健康づくり	1,763	1,997	△ 234	マスコット数量の減
出前講座・健康相談	948	814	134	野菜摂取状況測定器リースの増
事業費合計	7,743	7,546	197	

【根拠とするデータ等】

令和元年度港南区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	健康づくり係
	森山 裕正	丸山 尚子	五十嵐 修

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	高齢者 障害児・者 その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成24年度
------	-------------------------------------	-------------	-----------------------------	--------	--------

事業名
災害時も地域で見守り推進事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	6

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,028					2,028
前年度	1,580					1,580
増△減	448	0	0	0	0	448

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	1,000	1,000	1,250
メリット+一般財源	1,000	1,000	1,250
決算	1,074	774	1,029
決算	1,074	774	1,029

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	1,600	1,600
一般財源	1,600	1,600

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	いざというときに地域での要援護者への支援が円滑に進められるようパンフレット等を活用した啓発活動の実施や、要援護者の受入訓練の拡充を図り、災害に強いまちづくりを推進します。
---------------	---

(説明)	
1 地域の課題等	東日本大震災や熊本地震を契機として、いざというときに、地域の支えあいの中で要援護者への支援が円滑に行われるような仕組みづくりが求められています。「令和元年度区民意識調査」では約8割の方が、災害時に要援護者に対してなんらかの形で協力ができると回答しています。こうした声を活かし、災害時に備えた日々の見守り・支えあいが進むよう、要援護者に対する理解を広げ、地域の中で要援護者支援の取組が実施されるよう働きかける必要があります。新型コロナウイルス感染症を踏まえた福祉避難所運営や、要援護者の訓練参加促進も重要です。
地域の課題等の収集手段	4 地区懇談会 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	R2区運営方針 施策1 安全・安心のまちづくり
3 根拠法令・要綱等	災害対策基本法、横浜市震災対策条例、横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例、横浜市防災計画、港南区地域福祉保健計画
【実績の推移・今後見込み】 障害者団体等と協働で、具体的な支援策を検討するプロジェクト(プロジェクトR)を26年度発足、27年～30年度まで実施。令和元年度以降は、年に1回障害者団体等との防災懇談会を実施予定。 ・災害時の要援護者支援啓発パンフレット(障がい者編)の作成(28年3月) ・災害時の要援護者支援啓発パンフレット(障がい者編)の音声版を作成し、全視覚障害者に配布(28年11月) ・災害時の要援護者支援啓発パンフレット(支援者編)の作成(29年3月) ・災害時の要援護者支援啓発パンフレット(風水害編)の作成(30年3月) ・災害時の要援護者支援啓発パンフレット(支援者編)第2版の作成(30年12月) ・災害時の要援護者支援啓発パンフレット(障がい者編)第5版の作成(元年12月) ・防災講演会での手話・筆記通訳の実施(29～元年5月) ・福祉避難所と区役所との災害時情報伝達訓練の実施(元年2月) ・福祉避難所連絡会の実施(3年2～3月)	
【実施内容】 ・プロジェクトRで検討、作成したパンフレットを活用し、要援護者当事者や支援者に対し、自助・共助の取組の普及啓発を行います。 ・要援護者の訓練参加促進等に取り組む拠点・施設の拡充を図ります。 ・支援に際し要援護者や支援者からの幅広い意見が取り入れられるよう、手話及び筆記通訳を実施し、障害者団体等との防災懇談会を行います。 ・災害時に区と福祉避難所とが連携して、福祉避難所が新しい生活様式も踏まえて円滑に運営されることなどを目的として、区と福祉避難所との連絡会、連携した訓練等を実施します。	
【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】 当事業の取組は「防災・減災」及び「見守り・支えあい」を進めるものであり、当事業の成果を関係課及び関係団体に情報共有します。	
【障害者就労施設等からの調達取組】 各種物品の調達時に検討します。	

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
災害時要援護者への支援対策	2,028	1,580	448	福祉避難所関連経費の増
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,028	1,580	448	

【根拠とするデータ等】

令和元年度港南区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しまし	課長	係長	係
	森山 裕正	武井 陽子	

[港南 区 生活衛生 課]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	その他福祉・保健・衛生 動物愛護・適正飼育	事業開始年度	平成15年度
------	------------------------	-------------	--------------------------	--------	--------

事業名 安全で快適な生活推進事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 15 4	事業評価 書番号	該当なし
	中期計画-行政運営				事業評価 書番号	
	重点事業					
	新規・拡充		○			
	温暖化対策関連事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,300					1,300
前年度	1,434					1,434
増△減	△ 134	0	0	0	0	△ 134

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	1,283	1,360	1,647	予	事業費	1,300	1,300
算	メリット+一般財源	1,283	1,360	1,647	算	一般財源	1,300	1,300
決	事業費	1,080	1,022	1,585	方針に関する決裁 種別() 有:件名 ()、日付 (年 月) 無			
算	メリット+一般財源	1,080	1,022	1,585				

事業の概要 (目的)	区民が安全で快適な生活を送れるよう、生活環境に起因する課題（食の安全・動物の適正飼育・ハチ
---------------	---

(説 明)							
1 地域の課題等		<p>1 食の安全推進事業 毎年、加熱不十分な食肉を原因とするカンピロバクター食中毒や、ノロウイルスに汚染された食品を原因とする食中毒、食品への異物混入事件が全国各地で発生しており、港南区も例外ではありません。食の安全に関する課題の多くは、消費者や食品等事業者が、適切な食品の取扱いを十分理解していない、あるいは、理解していても実践されていないことが大きな要因です。また、高齢者に対する配食・会食サービスや子ども食堂など新たな食品提供方式が増加してきており、地域に密着した食中毒予防等の支援が必要となっています。さらには、新型コロナウイルス感染症予防のための新しい生活様式がスタートし、食品衛生に関する情報提供の方法や講習会の在り方についても時代に即した手法が求められています。</p> <p>2 動物の適正な飼育啓発事業 区内では、畜犬登録上約9,000頭の犬が飼育されており、猫も同程度の頭数が飼育されていると推定されます。家族の一員として大切に飼育されているペットがいる一方で、鳴き声やふん尿などにより地域のトラブルに発展するケースも多く見られます。飼い主のいない猫（いわゆるのら猫）への対応を含め、人と動物が快適に暮らしていけるよう、飼い主等に対して動物の習性・生理をよく理解していただくとともに、飼育マナーの向上を図ります。</p> <p>3 災害時のペット同行避難支援事業 横浜市防災計画には、地域防災拠点にペットの一時飼育場所を設定することや、飼い主がペットの飼育管理を行うことなどについて記載されていますが、飼い主側の準備が十分でなかったり、同行避難に対する拠点側の理解がなかなか進まない現状があります。発災時には、必ずと言っていいほどペットを連れてくる飼い主がおり、地域防災拠点での動物の飼育を巡るトラブルをなくすため、拠点訓練等の機会をとらえて飼い主及び地域に向けた啓発を進める必要があります。さらに、新型コロナウイルス感染症予防のための新しい生活様式がスタートし、啓発の手段や拠点訓練の在り方についても時代に即した手法が求められています。</p> <p>4 ハチ対策事業 初夏から秋にかけては、ハチに関する相談が多く寄せられます。スズメバチは攻撃性が高く、巣の除去には相当の危険を伴うため、原則的に敷地の所有者が駆除業者に委託するなどして対応します。スズメバチに比較して攻撃性が弱いアシナガバチについては、希望する区民自身が巣を安全に除去できるよう、駆除機材の貸出需要があります。</p>					
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望				
2 運営方針等との関係	港南区運営方針 施策1 安全・安心のまちづくり						
3 根拠法令・要綱等	<ul style="list-style-type: none"> 食品衛生法、横浜市食品衛生法に基づく公衆衛生上講ずべき措置の基準に関する条例、食品安全基本法、横浜市食品衛生監視指導計画 動物の愛護及び管理に関する法律、狂犬病予防法、横浜市動物の愛護及び管理に関する条例、横浜市動物愛護管理業務計画 横浜市環境衛生業務実施計画、横浜市スズメバチ等対策要領 						
【実績の推移・今後見込み】							
	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
食品衛生講習会	35	24	20	27	20	15	20
犬猫苦情受付	269	316	350	706	809	800	800
ハチ駆除機材貸出	20	14	25	30	32	30	30

【実施内容】

- 1 食の安全推進事業 【事業費】 410千円
 (1) ノロウイルス等による大規模食中毒の発生防止
 【実施目的・内容】ノロウイルス等は、乳幼児や高齢者などのハイリスクグループが感染した場合に重篤な症状を引き起こすことがあり、一旦施設内で発生すると被害規模が大きくなる傾向があります。このため、社会福祉施設等の給食施設を重点対象施設と位置づけ、衛生指導を実施します。
 【実施場所】社会福祉施設等の給食施設
 【実施スケジュール】小学校給食施設一斉（6月～7月）、病院給食一斉（6～12月）、保育園等給食一斉（6～9月）、その他社会福祉施設等給食一斉（10～1月）
 【対象者】各施設への衛生指導を通じ、これらの施設を利用する区民の健康被害発生防止を図ります。
 【実施方法】各施設への立入指導を原則としますが、立入制限されている場合は啓発チラシ等の郵送による衛生指導を行います。
- (2) 地域への食中毒予防啓発
 【実施目的・内容】家庭等における食中毒等の発生防止のため、地域等へ積極的に呼びかける出前講習会を実施します。高齢者向けの会食・配食サービスや子ども食堂等への衛生支援では細菌検査用培地などを用い、施設や器具などの衛生状況を確認して効果的な衛生教育につなげます。講習会の内容は、福祉保健課と連携して食育や健康づくりなどのテーマを取り入れることも検討します。
 【実施場所】各地域における会場
 【実施スケジュール】地域での食中毒予防出前講習会（通年）、ボランティア衛生講習会（通年）
 【対象者】各地域における区民（町内会、高齢者向け会食・配食サービスや子ども食堂等のボランティアグループ単位等）
 【実施方法】団体等へ講習会実施を呼びかけ、手を上げた団体について細菌検査用培地等を用いた衛生支援を行います。地域イベント実施の際には、衛生点検を行って食中毒を予防します。講習会の実施にあたっては実施時期における感染症の発生動向を考慮し、マスク着用・手指消毒・体温測定・人数制限等必要な措置を講じます。集合型研修を希望しない団体についても、啓発チラシやグッズの郵送による衛生支援を行います。
- 2 動物の適正な飼育啓発事業 【事業費】 495千円
 (1) 犬・猫の飼い方（しつけ方）教室
 【実施目的・内容】犬や猫を飼い始めた飼い主や飼い方（しつけ方）で悩んでいる飼い主を対象とした講座（犬と猫で別開催）
 【実施場所・時期】区役所会議室（予定）、9月下旬（動物愛護週間）～11月頃
 【対象者】主に犬や猫の飼い主を中心とした区民
 【実施方法】区獣医師会、適正飼育推進員や民間インストラクター等と協力して実施します。飼い方（しつけ方）教室の開催にあたっては実施時期における感染症の発生動向を考慮し、マスク着用・手指消毒・体温測定・人数制限等必要な措置を講じます。
- (2) 飼い主のいない猫対策事業
 【実施目的・内容】飼い主のいない猫への対応として、適正な頭数制限を目的として、日頃から地域で不妊去勢手術等の活動を行っている区民等を支援します。また、飼い主のいない猫が民地内に侵入することで引き起こされる糞尿等の被害による苦情の改善策を提案します。
 【実施方法】猫の捕獲器を購入し地域における活動など、区民から不妊去勢手術のため捕獲器貸出の要望があった場合には、貸出しを行います。また、猫による被害で困っている相談者に忌避装置の貸出しを行います。
- (3) 長寿動物の飼い主表彰式
 【実施目的・内容】犬猫等動物を永年飼育してきた飼い主を表彰し、他の飼い主の模範とすることにより、広く区民に動物愛護精神の育成を図ります。
 【実施場所】区役所会議室（予定）、9月下旬（動物愛護週間）
 【対象者】長寿動物の飼い主等（おおむね16才の犬猫等）
 【実施方法】区が16才以上の犬で適正飼育を行っている飼い主を推薦し、港南区獣医師会が犬、猫、その他長寿動物の優良飼い主を推薦します。集合型の表彰式については実施時期における感染症の発生動向を考慮し、マスク着用・手指消毒・体温測定・人数制限等必要な措置を講じますが、開催が困難な場合は表彰状の郵送による事業とします。
- (4) 動物連絡会との協働
 【実施目的・内容】獣医師、動物適正飼育推進員、自治会、保健活動推進員、学校関係者、動物ボランティア等からなる動物連絡会との協働により、啓発リーフレットの作成等の事業を実施します。
 【実施場所・時期】区役所会議室（意見交換会やリーフレット作成編集会議など）
 【対象スケジュール】意見交換会、リーフレット作成編集会議（7月、11月、3月）

- 3 災害時のペット同行避難支援事業 【事業費】 360千円
 【実施目的・内容】大規模な地震や災害時、地域防災拠点にペットを伴い避難する方が想定されます。そのため、地域防災拠点の避難訓練の際にペットとの同行避難について啓発を行い、災害発生時にペットの飼い主が協力してペットと人が安心して避難できるよう訓練の支援を行います。また、拠点訓練に替わる非集合型啓発として、パネル、のぼり、横断幕を作成し区民ホール等での展示を行います。
 【実施スケジュール】地域防災拠点運営員会連絡協議会等で周知（5月）、地域防災拠点、町内会等への説明（随時）、災害時のペット同行避難訓練（地域防災拠点訓練時9～11月）、区民ホール等でのパネル展示（9月、1月）
 【対象者】ペットの飼い主、地域住民
- 4 ハチ対策事業 【事業費】 30千円
 【実施目的・内容】比較的危険性の少ないアシナガバチを対象に、駆除器材の貸出を区役所で行っています。
 【障害者就労施設等からの調達の取組】
 災害時のペット同行避難支援事業 啓発パネル及び啓発用のぼり・横断幕の作製を委託します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
食の安全推進事業	410	610	△ 200	事業見直しによる減
動物の適正な飼育啓発事業	495	405	90	新規取組による増
災害時のペット同行避難支	360	284	76	新規取組による増
ハチ対策事業	30	130	△ 100	備品購入済による減
動物保護管理事業	5	5	0	
事業費合計	1,300	1,434	△ 134	

【根拠とするデータ等】

港南区区民意識調査 港南区データ集

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係長
	有竹 義男	鈴木 絵美	安達 博紀

[港南区 高齢・障害支援課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成16年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名	高齢者元気応援事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
16	1・2・4
17	1・2・3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	1,989	0	0		1,989
前年度	2,015	0	0		2,015
増△減	△26	0	0	0	△26

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	968	1,709	2,660	予算	事業費	1,989	1,989
	メリット+一般財源	968	1,709	2,660		一般財源	1,989	1,989
決算	事業費	980	1,662	2,449	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	980	1,662	2,449				

事業の概要(目的)	地域の関係団体や福祉・介護・医療に携わる多職種との連携を深め、認知症や介護予防、在宅医療の普及啓発を行い、高齢者が自分らしく安心して生活できる地域づくりを支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

港南区では、急速に高齢化が進み、令和2年3月末現在、高齢者数60,904人、高齢化率は28.5%と横浜市全体の24.6%を4%上回っています。
認知症の方その家族が地域の良い環境で自分らしく暮らし続けるためには、認知症に関する正しい知識の普及を進め、社会の理解を深めることが不可欠です。また、症状が急激に悪化した方へ、迅速に支援できる体制が求められています。
高齢者ができるだけ要介護状態にならず、地域でいきいきと自分らしく生活できるためには、地域住民、関係機関の連携をさらに進める必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	--------	-------------

2 運営方針等との関係

港南区政運営方針 施策2 見守り・支えあいのまちづくり 施策3 誰もが元気で健康やかに暮らせるまちづくり

3 根拠法令・要綱等

介護保険法、横浜市介護予防普及啓発活動支援事業実施要綱、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画等

【実績の推移・今後見込み】

年度	R元	H30	H29	今後見込み
認知症高齢者の理解と見守り強化事業 (認知症高齢者等SOSネットワーク登録者数)	203人	236人	180人	幅広い世代へ、認知症の正しい知識の啓発を実施
在宅医療と介護の連携支援 (医福ネット)	2回 287人	3回 485人	3回 411人	今後も継続発展に向けた運営支援を行い、医療・介護を中心とした多職種連携を深めていく

【実施内容】

1 認知症高齢者の理解と見守り強化事業

幅広い世代の方に認知症の方への正しい理解と接し方を啓発するため、世界アルツハイマーディに合わせ、港南区区内を運行するバス430台に車内広告を掲載します。
認知症のため栄養状態や衛生状態が悪化した方を支援するため、既存の支援サービスでは対応できない当面の介護食や衣類などを用意し、緊急対応に備えます。

2 在宅医療と介護の連携支援

医療と介護の多職種が運営する自主活動グループ医福ネットを研修企画等で支援し連携を深めていきます。
エンディングノートの啓発を推進するため、区主催の映画上映会・地域ケアプラザで開催される書き方講座等を実施することで、家族と話し合うきっかけづくりを進め、高齢者が自分らしく最期まで安心して生活できるよう支援します。区主催の映画上映会は参加者数を5割に絞り、1日2回上映とします。

3 生活支援体制整備事業

熱中症予防や地域交流促進のための「まちの給水所」を推進します。港南区社会福祉協議会と協力し、参加企業・事業所を増やすとともに、給水所の運営支援のため、給水ポッドの無償貸与等を行います。また、屋内での集いの場の開催が困難であることから、移動販売や給水所等の人が集う場所にベンチを配置し、屋外での日常的な集い・交流の場の創出を目的とした「まちの縁側」を推進します。
区内のサービスB事業者を支援するため、介護認定審査会にて要支援1・2と認定された方たちに郵送される郵便物の中に、事業者の活動案内のちらしを同封し、サービスBの利用を促進します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域でみんなで介護予防	0	325	△ 325	区配事業活用による減
認知症高齢者の理解と見守り強化事業	659	470	189	バス車内広告掲載による増
在宅医療と介護の連携支援	830	700	130	
生活支援体制整備事業	500	400	100	
高齢者と子どものふれあい交流事業	0	120	△ 120	事業終了による減
			0	
事業費合計	1,989	2,015	△ 26	

【根拠とするデータ等】

横浜市統計ポータルサイト 年齢別人口（令和2年3月）、認知症高齢者等対策連絡会、区域協議体 令和元年度
港南区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	大島 知行	吉原 祥子	吉原 祥子

(港南 区 - 27)

[港南 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成15年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	障害者いきいき生活応援事業
-----	---------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
31	3
31	6

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,530					1,530
前年度	2,450					2,450
増△減	△ 920	0	0	0	0	△ 920

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,670	1,776	2,450	予算	事業費	1,530	1,530
	メリット+一般財源	1,670	1,776	2,450		一般財源	1,530	1,530
決算	事業費	1,560	1,529	2,271	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	1,560	1,529	2,271	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害児者及び家族が地域で安心して生活が送れるよう、居場所の提供等による支援を実施します。 ・ 障害者施設と協働し、地域の中で充実した生活が送れるよう様々な支援を実施します。 ・ 地域に対し、障害理解を促進するための普及啓発の取組を実施します。
-----------	---

(説明)				
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある方が安心して地域で生活していくための相互のつながり、見守り支えあい体制の構築 ・ 障害のある方に対する理解についての普及啓発 ・ 障害のある方の健康づくり 			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	6 区民要望	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	R2 運営方針 【施策2】見守り・支えあいのまちづくり 【正確・丁寧な行政サービスの提供】			
3 根拠法令・要綱等	身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、障害者総合支援法、港南区青年学級補助金交付要綱、障害者施設自主製品販売促進事業補助金交付要綱、地域主導型居場所提供事業補助金交付要綱(改正予定)、夏休み学齢障害児支援事業補助金交付要綱(改正予定)			

【実績の推移・今後見込み】

事業名	R3見込み	R2見込み	R1	H30	H29
精神福祉出前講座	230	230	106※	228	133
青年学級参加者数	250	250	240	238	250
夏休み学齢障害児支援事業		200	200※	418	662
居場所提供事業		70	45	67	98
地域交流支援事業(仮称)	200				

※コロナの影響で実施回数減

【実施内容】

- 精神保健福祉相談事業
 - ・ 精神保健福祉にかかる普及啓発を図るため、ケアマネージャーや民生委員、地域ケアプラザ職員、地域住民等を対象に、地域ケアプラザにおいて連続講座を実施します。
- 青年学級事業
 - ・ 軽度知的障害者が区民とふれあひながら、仲間づくりや時間、話題を共有できる活動を支援します。
- 地域交流支援事業(仮称)
 - ・ 区内在住の障害児者及びその保護者を対象とし、地域とのつながりの支援を目的として実施する事業を支援します。
- 障害者施設販売促進事業
 - ・ 障害者施設の自主製品販売支援を通じ、市民に対する障害の理解啓発や当事者の社会参加機会の場を提供します。
- 課題等対応経費
 - ・ 誰もが一緒に楽しめるスポーツの体験機会を提供し、障害者と地域との交流促進につなげていきます。
 - ・ 相談事業所や施設職員等支援者の能力向上を図るため、支援者向け講座を実施します。
 - ・ 障害に対する理解向上を図るため、市民向けに啓発の取組を実施します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

＜見守り・支えあい＞

- ・ 障害理解啓発ポスター、クリアファイルなどを活用した啓発や、障害者スポーツを通じた障害者施設と地域との交流支援など、地域で障害理解を進める取組を行います。

【障害者就労施設等からの調達の取組】

- ・ 調達可能性のあるものについては、積極的に調達を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
精神保健福祉相談支援事業	200	200	0	
青年学級事業	270	270	0	
夏休み学齢障害児支援事業	0	400	△ 400	事業統合による減
地域主導型居場所提供事業	0	80	△ 80	事業統合による減
地域交流支援事業（仮称）	480	0	480	事業統合による増
障害者施設自主製品販売促	100	100	0	
課題等対応経費	480	1,400	△ 920	パラリンピック機運醸成方法の見直しによる減
事業費合計	1,530	2,450	△ 920	

【根拠とするデータ等】

- ・ 関係者及び関係団体への聞き取り、事業参加者アンケート、自立支援協議会でのニーズ調査など

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	大島 知行	酒井 絵美	酒井 絵美